

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} ~~昭和~~ 2年 3月 8日

調査者氏名

山際秀雄

90001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|-------------------------|----|--------------------|--------|-------|
| グアテマラ | (現地公用語) HORTICULTURA | 新規 | (男) 人 | 3年4月 | |
| | (日本語) 105 野菜 | 交替 | (女) 人 (男女不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO DE CIENCIA Y TECNOLOGIA AGRICOLA (ICTA) | | | | | |
| (日本語): 農業科学技術庁 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: CENTRO DE PRODUCCION AGRICOLA REGION 5 日本語名称(米5地域農業試験場) | | | | | |
| 所在地: CHIMALTENANGO 主要都市(グアテマラ)から 55キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 全国8ヶ所にある農業試験場の一つ、約25人の農業技術者が勤務。地域住民の社会、経済向上のため、農産物の生産性増大、品質向上のための技術の導入、研究、普及を図る。米5農試は、穀物類種子の生産、販売を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): ツヤハイ害虫の実験室あり。農場面積は約20ha、うち野菜研究用圃場は4ha位、温室2棟、灌水設備あり。他に農産物加工工場も有る。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 同農業試験場の農業技術者。 | | | | | |
| ② 技術の範囲: トロピカル系の品種改良、カリフラワの選抜育種、ニンゲン・カンランの採種方法の検討。タマネギ、カボチャ、エトウ、赤ダイコン等の採種への助言及び一般栽培技術の改良 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農業試験場の一員として、7:30より16:00まで農場で働く。試験場からマルティゴ市の近郊に居るのに、近くの下宿が借家あり通可。グアテマラ・シティからの通勤可。月～金曜日までの活動。土・日曜は休日。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: C/Pは大学卒の農業技術者。35才。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 上記(1)～④に記載設備機材の全部。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ス페인語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: グアテマラは中米有数の農業国。野菜も国内消費及び輸出用として年々生産増加している。しかし大部分が高価な輸入種子を利用。ICTAでは既に、麦、トウモロコシ、インゲン、等穀物に於ては国内生産販売しており、野菜種子もその上に乗せたい意向。現在の栽培技術に改良、新技術を加え、国内種子生産を目指すと共に、現地育成の品種にも育種を促す事が期待される。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学部卒。上記野菜の育種、採種の経験2年以上。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~昭和~~ 平成 元年 7 月 27 日

調査者氏名 元村啓道
ホンデュラス事務局長

89/03

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者数※ |
|---|-------------------------------------|----------|-----------------------------|-----------|-------|
| ホンデュラス | (現地公用語) Hortariza (日本語) 野菜 (105) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 至急 年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Secretaria de Recursos Naturales (日本語): 天然資源省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Proyecto de La Esperanza 日本語名称(グアテマラ)プロジェクト 所在地: La Esperanza, Intibuca 主要都市(ギガムケ)から 90キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 零細農家に対し農業生産物の増大、栽培試験、研究、普及を柱とした活動を行っている。24haの試験圃場 実験室が有る | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在、アスパラガス試験圃場、イチゴ圃場を中心として、トラクター、農機具、低温貯蔵庫、土壌実験室が有る | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: Ingeniero Agronomo 農業技師 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 一応の野菜栽培が出来ること また栽培データの収集及びその統計処理が出来ること | | | | | |
| ③ 業務の形態: 当農場の野菜部門は普及試験の2部門が有るが主として試験圃場における、デモンストレーション栽培、及びデータ収集、統計処理を行う | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 25才~30才くらいで農業系学部の大卒者及び短大卒者で一応の野菜栽培経験が有ること | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、耕り機 その他一通りの農機具は有る。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: ヒースコ(米平和部隊)隊員が2名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スパイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 将来的に当エスパーンサ近郊農家に普及(主に現金作物として)可能と思われる野菜の品種及び栽培方法の確立のための試験栽培 アスパラガス、イチゴ、ニンニク、タマネギ など | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業系学部(大卒・短大・実践大卒)の出身者で野菜の栽培経験が有ること また統計処理が出来ること | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 昭裕 2 年 2 月 7 日

調査者氏名

ホンデュラス事務



049-90-001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|-------------------------------------|----------|------------------------------|--------|-------|
| ホンデュラス | (現地公用語) Hortaliza (日本語) (105) 野菜 | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人 | 年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Educación Pública (日本語): 文部省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Instituto Polivalente "Froylan Turcios" 日本語名称(フロイラン・トルコス技術中 所在地: Tocoa, Colón 主要都市(ラセバ)から 80 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 初等教育を終えた 13才以上の男女を対象に中等教育 を行うとともに、農業を始め木工、電気、工作機械、浴槽等の技 術教育を行う。米州開発銀行(IDB)の援助により設備は一通り整備さ れている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 畑面積約 1.4ha, 牧草地 0.7ha 農具、運搬等一通り揃っている。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 実習指導員として農業部門を担当する。 | | | | | |
| ② 技術の範囲: スイカ、メロン、キュウリ、トマト等の野菜栽培が中心となる。 実習指導が中心となるので、一通り作れることが必要。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 隊員の割当てられた圃場を使用して、学生と共に野菜の モデル栽培を行う。生産物は学校の自給用に使う他、トピア の町へ出荷し、販売利益を学校の運営資金に回している。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 24才と27才の男性2名、両名とも 農業高校卒業後、アメリカから研修を受けて、1ヶ月間の研修を受けた。技 術水準は高い。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 小型トラクター、農機具一式 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 木工部門に米平和部隊1名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、全国に8校ある Polivalente (技術中 校)は、米州開発銀行の援助を受けて建物、設備が整備されているが 設立後周もないうちに優秀な指導員及び運営費の不足等により 一部の設備を使いこなせないところも多い。隊員には学校の基盤作り に対する協力が求められている。(6/2 西村珠希隊員の後任) | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 農業高校卒業以上 ○ 実際の栽培経験がない場合は技術 研修(半年以上)が必須条件。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 19 日

88-102

調査者氏名-

岡 大寿

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|------------------------------|----------------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) HORTICULTURA (日本語) 105 野菜 菜 | 新規 交替 | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 65年2月 64/2次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE AGRICULTUR Y GANADERIA (日本語): 農 牧 省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Escuela Agropecuaria y Forestal de Concepción → 日本語名称(コセプション国立農業高校) 所在地: コセプション → Concepción 主要都市(アスンシオン)から 500 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1938年創立。1976年現校舎となる。全寮制16年制農業高校(男30名)卒業後大学進学可。現在生徒数120名(来年度180名予定)。農業科目及び一般科目について学ぶ。専攻科目教員6名(アスンシオ大卒)。助手6名(卒業生)。一般科目教員8名 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室、寄宿舎、教員住宅、発電設備、実習農場、自給用農園、畜舎(牛、豚、鶏)、別添写真参照 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 専門科目教員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 農業知識一般、野菜知識一般(畜産、土地改良、栽培技術、品種改良用トケビ、トマト、ピーマン、人参、玉ねぎのうち最も自信の持てるものがあること) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 授業時間 AM 7:00-11:00 PM 1:30-5:00 各学年毎日の授業のうち半分が(午前中或は午後)とみどり教室授業或は農業実習となる。 ① 同僚教員とともに、実習指導を行う。 ② 語学が上達すれば、単独で授業を持つことも可能。 ③ 上級学年生徒と共に(2名程度)、周辺農家へ実習を兼ねた指導に出ることも検討されている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 来年度6学年全員(ほぼ日本の中・高校出に相当)。特定のカウンターパートがいないが不明。但し全教官ともアグロ学部長がそのレベルを持つ。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 大型トラクター1台、小型トラクター1台、一般農耕機具、役牛四頭。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スパイン語、ガラニー語(日本での学習を要しない) | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: コセプション市中心的な位置し、同市の外から全コセプション県の広い範囲から生徒を集めている。現校長は1988年赴任。学校のレベルアップと地域の向上、発展に強い意欲を持っており、優秀な教員の確保を切望している。(そのほか生徒が中止で辞めたい)。日本の優れた農業技術(但し当国に適用可能なものを)を学ぶことにより、日本が一般的に持つ優位性(計画性、勤勉性、責任感、等)からも教官、生徒が何かを学ぶことを期待している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大学農学部) ○(実務(野菜)経験2年以上) ○(自信のある品種がある) 教育経験が望ましい。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 30 日

調査者氏名 渡辺 順子

88-103

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--------------------------------------|----------|-----------------------------|----------------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜(仔工) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 65年2月 64/2次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia (日本語): 農牧省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Escuela Agropecuaria y Forestal 日本語名称(農業高校) 所在地: San Juan Bautista 主要都市(アスンシオン)から200キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 生徒数約100名 職員37名(教員22名) 全寮制(男子) 農業高校(野菜, 食用作物, 果樹, 林業, 畜産(養豚舎) 養鶏, 養蜂 業機械) | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実習圃場, 畜産用牧場, 養豚舎, 養鶏舎, 養蜂舎 農業機械演習教室(小型トラクター他) 理論用教室5, 食堂, 図書室, 職員室, 宿舎 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 教員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 生徒の実習授業を担当 1ヶゴの栽培に関する技術 農業一般知識 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 授業時間 AM 7:00 ~ 12:30 PM 1:15 ~ 6:15 (午前と午後にとりわけ理論, 或いは実習を行う) ① 同僚教員と実習授業を担当 ② 務学が上達すれば, 授業を担当可。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 27才の同校卒業生, 行方については一時的 栽培実習はITが今年(1988)は2回, 一ヶゴの栽培が技術と望む。生徒は日本の中高生と同 年 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 圃場を新しく作る可。ハウス等の栽培にかかり機材は当地 に入らず, 但し費用については同校と話し合っのよご折半ということになった。 一般的農機具に關しては完備。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 添えた資料写真にあつり, かなりさかしくIT=指導のほうにい る農業高校である。1ヶゴ栽培については今こころ専門的IT技術指導レベルが 高く, 日本からの優秀な指導者を得たいと期待している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○農学部卒 ○1ヶゴに専門と経験 ○経験2年以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} 昭和 27 年 3 月 9 日

調査者氏名 堀川 満

90-001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|------------------------------|-----------|-------|
| パナマ | (現地公用語) HORTICULTURA (日本語) 野菜 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1991年 2 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA (日本語): 農牧省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: COOPERATIVA CAAGVAZU 日本語名称(カグアス農協) 所在地: カグアス県カグアス市 主要都市(アスンシオン)から180キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1973年に設立された。職員数10名。組合員1,400名。組合員農家は野菜の生産が主となっている。組合は農民に対する融資が主たる業務の一つ。組合所有の20haの土地を利用し、野菜栽培技術の普及プロジェクトを開始している。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): マーケット型倉庫(12x30m)を1つ、事務所として使用。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 野菜栽培技術指導員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 野菜(種類は未定)栽培技術及び普及指導 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農協職員と同じ様に勤務する。月～土曜 7:00～12:00。月～金曜日は午後 2:00～5:00。 20haの野菜圃場の造成、管理、運営。当初は数haから開始する。現在は未開墾地となっており、隊員が到着後本格的に始動する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業高校卒3名。25～26才。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 無し。隊員到着後準備は始める。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 米国 平和部隊(Cuerpo de Paz)夫婦60才。農業協同組合専任 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地には野菜栽培技術が遅れており、農協が中心となって市場の開拓を促している。しかし指導者不足のため、隊員には栽培の市場への出荷などのアドバイスも期待している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○野菜栽培(技術)経験5年以上 ○農業高校卒以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 2 年 3 月 10 日

記入 昭和 2 年 3 月 10 日
調査者氏名 堀川 満

90-005

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|------------------------------|-----------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) HORTICULTURA (日本語) 野菜 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1991年 2 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA, S. E. A. G (日本語): 農牧省 農牧普及局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: SERVICIO DE EXTENSION AGRICOLA GANADERA 日本語名称(農牧普及局パラグアイ事業所) 所在地: BLAS GARAY, カージェス県 ブラスガライ 主要都市(アスンシオン)から160キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 農牧普及局は全国に128の事業所を配置し、主に地方の農牧畜の振興を目的として活動している。当事業所は協力隊との共同プロジェクト(チーム派遣)により、1987年度末から開設準備がなされ、野菜栽培を中心とした普及活動を当地区及び県内で広く展開するの基地となる。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務1棟、倉庫、農業機械整備工場、研修所(宿泊所)、圃場4ha、灌漑設備、ランクル1台、小型トラック1台、オートバイ他。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 野菜栽培指導員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 野菜栽培に関する一般的知識・技術(キュウリ、メロン、ネギ、ニンジン、キャベツ、イモ他) 病虫害に関する知識・技術、農業の知識、取扱い。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 事業所勤務時間: 月～金 7:00～12:00, 14:00～17:00。土曜午前のみ。チームの一員として野菜圃場の管理運営、普及及び病虫害に関する分野を受け持つ。事業所には現地SEAG側職員と、JOCV側隊員(4名他5名)が勤務する。チームとしての全体計画がある為、計画に沿って活動を展開することになる。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農学部卒業。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 全ての機材を現地に調達して。現在残りの課題は電気工事の未着工(現地電気公社の計画にはある。)と、自家発電機の利用に。。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語、フランス語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: チーム派遣プロジェクトが開始し、3年目が終了。巧やく施設が完成し、これから本格的な普及活動に入る。配属先側では数年のプロジェクト協力延長を望み、地元民もプロジェクト効果に期待している。各農家の収益増を図ることが目的となる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| ○(野菜栽培技術) 農業大学卒 | | | | | |
| ○(病虫害の知識) (農業の取扱い) | | | | | |
| ※ 事務局記入 71 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 8日


調査者氏名

岡 大寿

90-006

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|------------------------------|---------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) HORTICULTURA (日本語) 野菜 | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人 | 91年 / 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTERIO DE AGRICULTUR Y GANADERIA (日本語): 農 牧 省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Servicio De Extensión Agricola Ganadera 日本語名称(農牧普及局FRAM事業所) 所在地: FRAM イタゾア県 主要都市(エンカケヤ)から 50 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 職員2名(所長兼農業指導員、生活改善員) FRAM及びその周辺地域に於いて農業技術指導、生活改善(家政)指導を行う(ニワトビナ普及、家庭菜園、ML、カネド、水浴場の衛生指導、栄養指導、手芸指導等) | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農業技術指導室、生活改善指導室 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業指導員(兼栽培) | | | | | |
| ② 技術の範囲: レタス、ニンジン、キャベツ、その他家庭で常食とする野菜類の栽培知識、技術 その他普及と広める意味、白菜等の日本野菜、東洋野菜の栽培知識、技術 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 月～金 AM 7:00～12:00 PM 2:00～5:00 土 AM 7:00～11:00 デモ・トレーニング菜園(1990年3月時点で付帯無し)管理を77、地域住民の家庭菜園指導を農業指導員兼生活改善員と共に行う。 状況に依り1人でも巡回する事になる。 小・中学校の学校菜園指導等もする事にすると予想される。(園の教育科目に含む) | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特ニカウチーパートと叫ぶ者は77、生活改善員(34才女性): 専内の農業知識は77が中心あり、所長: 農業高校卒、知識経験あり、但し | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材 他、仕事もあり家庭菜園指導を77が巡回する。25才。 特ニ77 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 77 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スパイン語 カラニ語(着任後できるように77が望ましい) | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: ロシア系の移民の多い地域であり、その個々の意識は多少違っている。但し一般的にパラグアイは野菜を食する習慣は無く、その個々の改善と因る必要度は高い。FRAM周辺には非常に貧しい地域もあり、日常食の自給度が高まる事による経済的・生活レベルの向上を期待している。現在、生活改善員が家庭菜園指導をしているが、そのレベルは十分とは言えず、本人も更に学習する意欲を持っている。収穫された野菜を77が食す。生活改善員と2/3月期の仕事と日 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 33。 農業高校卒以上 広く浅い知識、経験で可。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 72 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入  2年 3月 8日

調査者氏名  大寿

90-008

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|--|-----------------------------|----------------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜 | 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 3年5月 (1/3水) | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): <i>Ministerio de Agricultura y Ganaderia</i> (日本語): <i>農牧省</i> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <i>Cooperativa Colonias Unidas Agricola Ltda</i> 日本語名称 <i>(コロンias Unidas 農業協同組合)</i> 所在地: <i>イタプア県 オリガード市</i> 主要都市 <i>(エカルタシオン)</i> から 40 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <i>ドイツ人移住地内の農業協同組合で婦人・子供を対象とした家庭菜園及び栄養指導 モデル園場有</i> (事業規模 <i>組合員 約3,000人 職員 400人 全イタプア県、一部パラグアイ県を有する</i>) | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <i>農協事業所・マーケット・ガソリンスタンド・工場・サイロ・自動車整備部</i> <i>種子生産工場等17所にあり、精肉工場もある。農業学校・牛乳工場も着工予定</i> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <i>野菜栽培技術指導員</i> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <i>トマト・キャバチャ・オクラ、マヨマヨで幅広い家庭菜園の栽培指導及び種とり、調理・栄養指導</i> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <i>月曜～金曜 AM6:30-11:30 PM1:30-5:00</i> <i>土曜 AM6:30-11:30</i> <i>農協職員と同一の勤務時間体制の中で毎らぎ毎朝の会議では仕事の報告を行なう。月に学校マクラスに出る婦人・子供対象の栽培指導を有るとともに自分の畑(展示圃)5aの管理を行なう。</i> | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: | | | | | |
| <i>カウンターパート ① 大卒、技師、野菜専門員 ② 20才女性生活改善普及員 経験3年</i> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: <i>指導に必要と思われるもの</i> <i>小農具・トラクター・温室・巡回用單車・印刷材・ライライター</i> <i>スライド撮写機、発電機。</i> | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: <i>なし</i> | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <i>スペイン語</i> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: | | | | | |
| <i>当組合はドイツ人移住地内において移住者を中心に好業績をあげているが、パラグアイは野菜の栽培農家が少く、アスンシオン市場より高価な野菜を購入している。組合として栽培技術を各農家に普及させ、自給体制を整え、将来は組合の市場から販売体制をとり進める計画である。と同時に野菜消費を促し、栄養改善につとめる。</i> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| <i>野菜の栽培経験(広く深く)、料理・栄養面での知識、大学農学部卒</i> <i>農業</i> | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成元年 9月 5日
 調査者氏名 渡辺 晃徳・佐藤 裕司
 丸田 秀士

413 87014

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|-------------------|----|-----------------|--------|-------|
| PNG | VEGETABLE GROWING | 新規 | (男) 1人 | 2年 7月 | |
| | 野菜 (105) | 交替 | (女) 人 (不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ①配属先名称(現地公用語): Division of Education, Department of Madang (日本語): マダン州、教育局 | | | | | |
| ②隊員勤務先名称: Soiya Private School 日本語名称(ソイヤ私立学校) 所在地: マダン州・マダン 主要都市(マダン市街)から 30キロ | | | | | |
| ③事業規模及び内容: 諸般の理由により公立の学校に通えない小学生120人、ハイスクールの生徒65人(1989年5月現在)を収容しており、同学校の運営を司る有志11名が教鞭をとっている。今後、学校教育と同時に、生徒たちの自活自立のために農業を中心とした実践教育を行なう計画でいる。 | | | | | |
| ④設備概要(写真添付): 敷地面積4.2haのなかに、校舎(教室3)、職員住宅、学生寮がある。1988年の末に火事で校舎の何棟かが焼けたが、現在復興作業中である。農地は区画されているが開墾はまだなされていない。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ①隊員の業務上の地位: Education Officer (野菜栽培指導員) | | | | | |
| ②技術の範囲: 年平均気温28℃、年間降雨量3,000mmの気象条件に即した野菜の栽培技術、および農業一般の知識、その他灌漑に関する知識、技術があることが望ましい。 | | | | | |
| ③業務の形態: 同校の生徒に対して農業一般の授業を受持つ 実践的指導を通して野菜栽培技術を伝授する カウンターパートと共に野菜栽培に関するテキストを作成する マーケティングを展開することにより収入を得て、学校の資金とする | | | | | |
| ④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は小学校、ハイスクールの生徒、カウンターパートは教員養成学校を卒業した、同校で教鞭をとっている男性。 | | | | | |
| ⑤現地で利用できる機材: 現在は簡単な農具しかなく、加えて量が少ないため、学校側が政府に購入を申請中である。 | | | | | |
| ⑥第3国人の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦使用する言語: ビチン語、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: PNG国中で大きな問題となっている初等教育の充実を計るため、政府は公立学校のみでなく私立学校に対しても援助をしていく傾向が出てきているなかで、単に学校授業のみでなく農業等の実践教育も取り入れた学校が増えつつある。技術移転だけでなく、日本人の勤勉さも高く評価されており、教育局の隊員に対する期待は大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件については○印で囲む): 大学(農学部)卒業 経歴2年以上 | | | | | |
| ※事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成元年 9月 2日
調査者氏名 丸田 秀士

413 88101

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|----------------------|------|-------------------|--------|-------|
| PNG | VEGETABLE PRODUCTION | 新規 | (男) 1人 | 2年 7月 | |
| | 野菜 (105) | (交替) | (女) 1人 (不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ①配属先名称 (現地公用語) : Economic Division, Department of Madang (日本語) : マダン州、経済局 | | | | | |
| ②隊員勤務先名称 : Primary Industry Branch 所在地 : マダン州・テプテプ 日本語名称 (第一次産業支局) : 主要都市 (マダン) から 120キロ | | | | | |
| ③事業規模及び内容 : 地元農民、ユースグループの青年たちを対象に、キャベツ、カリフラワー等の高冷地野菜、柑橘類を中心とした果樹、在来作物の栽培指導を行なっている。 | | | | | |
| ④設備概要 (写真添付) : 農場、貯蔵庫、職員住宅、事務所本部はマダンにある | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ①隊員の業務上の地位 : Rural Development Officer | | | | | |
| ②技術の範囲 : キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、ニンジンなどの栽培技術、その他イモ類などの作物、果樹の栽培に関する知識があればなお良い。 | | | | | |
| ③業務の形態 : 農民、ユースグループへの栽培技術指導 換金作物のマーケティング | | | | | |
| ④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者は小・中学卒程度の農民、青年、カウンターパートは1988年岩手県で研修した女性と農業短大卒の青年 | | | | | |
| ⑤現地で利用できる機材 : 小農具 | | | | | |
| ⑥第3国人の配置状況 : なし | | | | | |
| ⑦使用する言語 : ビザン語、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 産業のない村落の人々の生活向上を計るとともに、近年問題となっている若い人人の村離れを押えるためにも、村レベルからのこのような隊員要請は増える傾向にある。1989年3月に日本での研修を終えて帰国した前任隊員のカウンターパートだった女性と組で、若い女性たちにも野菜栽培技術を指導することも期待されている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲む) : 大学 (農学部) 卒業、 <u>経験2年以上</u> | | | | | |
| ※事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9月 9日
調査者氏名 市場 千秋・丸田 秀士

413 89102

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|-------------------|----|-------------------|--------|-------|
| PNG | VEGETABLE GROWING | 新規 | (男) 1人 | 2年 7月 | |
| | 野菜 (105) | 交替 | (女) 1人 (不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ①配属先名称 (現地公用語) : Division of Primary Industry, Department of Chimbu (日本語) : チンブー州、第一次産業局 | | | | | |
| ②隊員勤務先名称 : 同上記 所在地 : チンブー州・カラワギ郡・ノガレ 日本語名称 () 主要都市 (クンディアワ) から 20キロ | | | | | |
| ③事業規模及び内容 : 州都クンディアワ、各郡庁所在地にある事務所の担当オフィサーが、州内の村を巡回し、野菜、コーヒーなどの栽培指導を行なっている。ノガレ村では主に除虫菊の生産が盛んである。今後当村に対しては、換金作物としてキャベツ、レタスなどの栽培指導を行なっていく計画である。 | | | | | |
| ④設備概要 (写真添付) : 暖斜面を利用した農場、倉庫 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ①隊員の業務上の地位 : District Rural Development Officer | | | | | |
| ②技術の範囲 : キャベツ、レタス、セロリなどの野菜、サツマイモ、ジャガイモ、イチゴの育種管理技術、市場開拓、また、土壌改良に関する知識があることが望ましい。 | | | | | |
| ③業務の形態 : サツマイモなど、在来作物の多収化を計る キャベツなど、外来作物の栽培法の確立と種子生産 地元農民への種子の配布と栽培指導 換金作物のマーケティング | | | | | |
| ④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者は小、中学卒程度の地元農民、サツマイモ栽培以外の技術水準は低い、カウンターパートは農業短大卒程度の青年 | | | | | |
| ⑤現地で利用できる機材 : 村人所有の小農具以外なし | | | | | |
| ⑥第3国人の配置状況 : なし | | | | | |
| ⑦使用する言語 : ビザン語、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 同州では、州内の第一次産業の発展に大きな期待を持っており、野菜生産の拡充、農業全般を産業として確立すべく、隊員に寄せる期待は大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲む) : 経験2年以上、イチゴの育種知識 | | | | | |
| ※事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9月10日
 調査者氏名 丸田 秀士

71389104

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--------|-------------------|------|-------------------|--------|-------|
| PNG | VEGETABLE GROWING | (新規) | (男) 1人 | 2年 7月 | |
| | 野菜 (105) | 交替 | (女) 1人 (不問) 1人 | | |

(1) 配属先

①配属先名称 (現地公用語) : Division of Education; Division of Health, Department of Oro
 (日本語) : オロ州、教育局; 保健局

②隊員勤務先名称 : Primary Health Care Demonstration Centre 日本語名称 ()
 所在地 : オロ州・ポボンデッタ 主要都市 (ポボンデッタ) から 内 キロ

③事業規模及び内容 : 同州の教育局と保健局が共同で運営しているセンターであり、諸般の理由により小学校、ハイスクール、職訓校通学を断念した青少年を集め、農業を中心とした実践教育を行なうと同時に、公衆衛生学、栄養学、マラリア防除等を教育し、村に戻って若者のリーダーとなるべく人材を養成する目的で始められた。現在生徒数70名、校長先生、有志の先生の2名が常時教鞭をとるほか、教育局、保健局のオフィサーが講師として来校している。

④設備概要 (写真添付) : 教室、学生寮 (10名程が宿泊)、畑

(2) 隊員の業務内容

①隊員の業務上の地位 : Education Instructor (野菜栽培指導員)

②技術の範囲 : 土地にあった作物を選別し栽培する技術、また、養鶏、養蜂の知識があることが望ましい。

③業務の形態 : 同校の生徒に対して農業一般の授業を受持つ
 実践的指導を通して野菜栽培技術を伝授する
 マーケティングを展開することにより収入を得て、学校の資金とする

④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者は小学校、ハイスクール程度の生徒、カウンターパートは同校で教鞭をとっている男性。

⑤現地で利用できる機材 : センター所有の農機具はなく、生徒各人が自分の手農具を持ち寄って作業している。現在、政府に購入を申請中である。

⑥第3国人の配置状況 : なし

⑦使用する言語 : ビヂン語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 若者の村離れが深刻な問題になっていることに伴い、町に出てきても何もすることのない彼らの悪行が大きな社会問題となっている。村のなかで若者たちを先導できる技術をもった人格者を育成するために、勤勉さが高く評価されている日本人から学ぶものは多いという考えから、今回の隊員要請となった。青少年活動の色合いが強い活動が期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲む) : 大学 (農学部) 卒業、経験2年以上、教員資格

※事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} 2年 3月 日

調査者氏名 大野 政義

41390002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---------------------------|----|-------------------|--------|-------|
| PNG | (現地公用語) Vegetable Growing | 新規 | (男) 1人 | 3年4月 | |
| | (日本語) 野菜 (105) | 交替 | (女) 人 (男女不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Wanigela Maguwa Youth Group Oro Province | | | | | |
| (日本語): ワニゲラ村 マグワ青年団 オロ州 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 () | | | | | |
| 所在地: ワニゲラ村 オロ州 主要都市 (ポートエラセ) から 200 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 村の中心的ユースグループで 10村からなる ワニゲラ地域で 婦人会として、野菜栽培プロジェクトを中心に 30名程で、現金収入を目指している。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 現在派遣中の野菜隊員の支援機材として、簡単な農耕具一式がある。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: Project Manager (プロジェクト・マネージャー) | | | | | |
| ② 技術の範囲: 有機農法による作物の病害に対する抵抗性を高める。堆肥、セシウム、ボカシ肥、魚糞肥料などの有機質肥料の作成。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: ワニゲラ地域における野菜栽培プロジェクトのリーダーとして、堆肥の作成から、実験農場の管理、栽培計画の立案、実践を若者達と行っていく。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 小学校卒業程度の若者 16才~25才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 簡単な農耕具一式 角スコップ、一輪車、じょうろ、鍬、灌水用ポンプ 育苗ポット等 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 村の言葉、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: | | | | | |
| 現在、野菜隊員が活動中であるが、今後、プロジェクトの改善、拡大を計画しており、さらなる隊員の派遣を希望している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| 有機農法に精通している事。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 12日

調査者氏名 山本昭夫

43189002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|----------|-----------------------------|--------------------|-------|
| ミクロネシア連邦 | (現地公用語) Vegetable Growing (日本語) 野菜 (105) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 90年11月 (02/2以降) | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Department of Resources & Development, Yap State (日本語): ヤップ州資源開発局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Division of Agriculture & Forestry 日本語名称(農林課) 所在地: Colonia, YAP. 96943 主要都市(ゴロニア内)から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ヤップ州は約120km ² の面積であり、この州内の一次産業を 全て管理している。水産・畜産・農林産物の生産を計っており、中でも野菜増産に ついて特に力を入れている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 野菜栽培普及員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 現地の需要を自給できるように、キャベツ、白菜、トマト、ジャガイモ、大根 ピーマンなど一般の人が食する野菜の栽培技術全般及び普及技術 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 資源開発局農林業農場にて、モデルファーム農園管理、専業農家の指導に より、試験デモンストラーション農場などで実地指導し、広く農民に技術を普及する。 これと並行して野菜栽培の普及が出来ていないので、今1からのスタートと考えて よく、特に農民と云うより海へ出れば魚がとれ、1ヶ月、根菜(タロ、カボ、ヤム)、パン の実と食事と云うのは不自由な人たちに野菜の必要性、商品性を知らしめていく ことも必要となる。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: オイスカにて日本研修を終えた25歳から30歳 女性。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 小型トラクター、必要用具 etc. | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: UNV 果樹担当の1人。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ヤップ語、英語。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 観光客の増加、ホテル建設開始、醸造工場建設 などにより、野菜需要は急に高まってきた。反面、政策への対応としてはコンポスト 予算が漸小になり、自主開発としては技術予算にも限られており、お隣の外人 を雇うことは難しい。協力隊の現地の人々と結びつけた活動で、ヤップ州における 輸入代替産業として大きな期待をもっており、又今の過期にも思われる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 野菜栽培の経験者、(経験 2年以上) その他は特にない。 普及員の資格あれば尚可。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 10月 26日

調査者氏名 瀧下良信

013 88020

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|-----------------------|----|-------------------|--------|-------|
| 中国 | (現地公用語) 萍果种植 | 新規 | (男) 1人 | 64年7月 | |
| | (日本語) 106 果樹 (リンゴ・ナシ) | 交替 | (女) 人 (男女不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): 河北省科学技术委员会 | | | | | |
| (日本語): 河北省科学技术委员会 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 河北省农林科学院昌黎果树研究所 日本語名称 (农林科学院昌黎果树研究所) | | | | | |
| 所在地: 河北省昌黎県東関 主要都市 (昌黎市内) から 一キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 当研究所は果樹の研究施設として、中国で最も歴史が古く、1935年に設立、現在は、河北省に於ける果樹研究の中心基地となっている。所内には果樹栽培に関する7つの研究室があり、職員数374名(研究職104名、うち教授7名) | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 5名、大学以上の高級研究員は21名。 | | | | | |
| ● 組織培養に関し、実験室3、培養室2、遮菌室1 一列添写真 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 当研究所の育種研究室、栽培技術研究室、病虫害研究室に關係する | | | | | |
| ② 技術の範囲: 1. リンゴ、ナシの苗木生産 高級研究員 | | | | | |
| 組織培養技術の研究・指導 (特に、ウイルスフリーの技術について) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 2. 病虫害対策の研究 | | | | | |
| 虫害... 星毛虫、梨木虱、紅毛、病害... 黑心病、萎蔫病、輪紋病、斑葉病 | | | | | |
| 3. 品種改良... リンゴ、ナシの品質向上 | | | | | |
| 尚、要請内容については、1. を最優先とし、2, 3. については、付加要請程度である。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学(農学)卒、経験3~10年の者の中からC/Pを選抜する予定 | | | | | |
| ● 現地で利用できる機材: 培養箱(国産-2)、紫外顕微鏡(オリンパス)、高速分離機(米国、Bakman) 他、研究機材は一通揃っている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 中国語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当研究所では果樹栽培に関する独自の研究を行っており同時に、日本からの苗木の導入もしており、(リンゴ: 国産、富士、ナシ: 巨峰、峰、ピオネ) 近年導入種は中国東北部に徐々に普及しつつある。同時に導入種が抱える特有の問題(病気感染など)も生じており、既に研究の進んでいる日本の栽培技術を取り入れたい。又、組織培養については、当研究所でも2年程研究を続けているが、いかに | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒以上、研究機関、又は、試験場にてリンゴ栽培に関し、5年以上の研究経験があること。(ナシに関する知識も有れば尚可) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 元年 3 月 6 日
 記入 昭

調査者氏名 瀧下良信

01389001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|-------------------|----|---------------------|--------------|-------|
| 中国 | (現地公用語) 果樹 | 新規 | (男) 人 | 2 年 2 月 5 | |
| | (日本語) 106 果樹(リンゴ) | 交替 | (女) 人 (男女不問) / 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): 辽宁省农业科学院 | | | | | |
| (日本語): 辽宁省農業科学院 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 辽宁省果树科学研究所 | | | | | |
| 所在地: 辽宁省盖县熊岳鎮 | | | | | |
| 日本語名称(辽宁省果树科学研究所) | | | | | |
| 主要都市(營口市)から 60 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 当研究所は南満州鉄道(株)の果樹農場として1909年に設立。以来時代の变迁を経て果樹専門の研究機関となったのは1984年からである。総面積130ha(リンゴ68ha、アト70.3ha、梨12haなど)、7つの研究室があり、職員数530名。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): うち研究職140名(大半以上の高級研究員は20名) | | | | | |
| - 写真添付 - | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 当研究室の栽培技術研究室、土壤肥料室で従事する高級研究員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 上記研究室において、 | | | | | |
| a. 外国からの導入品種の栽培技術普及 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 日本種(富士、国光)、米同種(テリヤス、ゴールデン)などを栽培研究しているが果実が小さい、赤くならない等の問題を抱えている。 | | | | | |
| b. 外来種に対して中国において最適な土壌形成、施肥の研究。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: CP: 農学系高等専門学校卒、経験10年程。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡(オシパス、ツイス他)、蛋白質・土壌分析器(スウェーデン製)等、一応研究機材は揃っている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 中国語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中国の各地果樹試験場では外国からの品種を導入して、栽培技術や、組織培養による苗の大量生産などの研究を続けているが、未だ商品として満足が行く果実を恒常的に生産出来るまでの栽培技術を確立しておらず、日本からの技術者派遣への期待は大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学(農学)卒、研究経験3~5年程度、リンゴ栽培に関する | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 七年 10月 9日
 調査者氏名 白下部 勝英

0.5589/0.1

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|----------|------------------------------|--------|-------|
| タイ | (現地公用語) Rural Development (日本語) 106 果樹 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 90年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): The Ministry of Interior | | | | | |
| (日本語): 内務省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Chiangrai Accelerated Rural Development office 日本語名称(チェンライ開発促進事務所) | | | | | |
| 所在地: Chiangrai office 主要都市(バンコク)から780キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 事務所はチェンライ県の開発促進事業を行っている。事業は村の道路、灌漑水路等を設計施工する農業土木部門、農作物、家畜指導を行う農業普及部門がある。全職員数202名で隊員は農業普及部に属する。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 公務員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 果樹栽培を主とするが、広い分野(野菜、家畜、魚等)の知識を持っている人が望ましい。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: プロジェクト村に行き、換金作物の栽培指導を行う。 例、モヒ村①はプロジェクトが開始されてから1年目で、農家数15、一農家が平均20アールの耕地を持ち、稲作を中心に、野菜栽培、家畜、魚飼育を行っているが現金収入は少ない。又家の回りには細々と果樹(バナナ、マンゴー、ポンカン等)を植えているが、売値は高くないので、この分野に力を入れたい。 農業普及員(主に果樹)として巡回指導を行う。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 36歳 農業普及員として8年働いており、アメリカのボランティアと仕事をしていた経験あり。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 直接村に行き技術指導するので、機材はない。 事務所敷地内には実験栽培所がある。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 1988年まで Peace-Co ボランティアが2人農業普及員として活動した。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: タイ語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: タイ国、特にバンコク周辺は著しく発展し、地方との格差は開く一方である。特に農村の開発は急務であり、内務省はこの部内に力を注いでいる。チェンライ県はタイの中で北部に位置し、果樹栽培(リンゴ等)が栄え、この分野での現金収入増加を期待している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| 農業普及員の経験があれば良い。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9 月 25 日

調査者氏名

243-86-001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|------------------------------|--------|-------|
| マラウイ | (現地公用語) Horticulturist (日本語) 106 果樹 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2年 8月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture. (日本語): 農業省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Dedza Hills Rural Development 日本語名称 (デザ丘陵農村開発プロジェクト) 所在地: project / デザ 主要都市 (リロウエ) から 80 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: デザを中心として約 192,000 ha の地域に住む農民約 41,000 人を対象に農業生産向上のための技術指導、適性作物の指導、水トラッキングシステムの実験を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所、2. 小規模な野菜試験場、及び農民のためのトラッキングシステム (1回につき2週間のコース) | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: Technical officer (果樹担当) | | | | | |
| ② 技術の範囲: リンゴ、もも、うめ、マンゴ等の温帯、熱帯性果樹の栽培技術、苗木生産 | | | | | |
| ③ 業務の形態: このプロジェクトでは 80 名のスタッフがおり、村々で農民の技術指導を行っているが、隊員は、このスタッフを指導する。農民を指導するスタッフと共に村へ出張し、スタッフの指導内容を補佐する。また、農民へのデモンストラティブ用としての果樹試験場の設営にも携わっている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: マラウイの農業学校で園芸と野菜を学んだシニアテクニカルアシスタント (40才) を含め、80 名のスタッフがいます | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 果樹のせん定バサミ、噴霧器等。基本用具は備えている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: デザ地域は、気候的に比較的寒く、園芸作物の生産が適していることから、今後、農民への指導もこの分野に力を入れたい意向であるが、現在、スタッフには園芸作物、特に果樹の専門知識、技術をもつ者がおらず、この指導、訓練をする人材が必要となっている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 1. 大学農学部卒 2. 実務経験 3年以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~冊~~ 年 月 日

調査者氏名

月井 芳文

261 88/107

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|-----------------------------|--------|-------|
| セネガル | (現地公用語) Arboreticulture (日本語) 106 果 樹 | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 90年 2月 | |
| (1) 配属先: Secrétariat Executif des C.E.R. | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Secrétariat d'Etat à la Décentralisation (日本語): 地方分権庁農村開発センター | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Centre d'Expansion Rural 日本語名称(農村開発センター) 所在地: 主要都市()から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 現在 10ha 程度の農民育成センターを計画中であり、候補地を AR/CER 及び各州庁レベルで選定中。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業技術者 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 果樹栽培一般に関する基礎的な知識、実務経験が必要。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農民育成センター内の農場での果樹実習指導及び教育における 栽培に関する講義を行なう (27コ、21コ、10/10ヤ等) | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 選考された農民。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: フランス語, 現地語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、セネガルには多くの農業プロジェクトが存在しているが、 本来対象となるべき農民に対する技術指導という点では、とどまっている。この センターでの農民、特に青年層への技術移転によって地域の農民リーダーを育成し、 ハイポスト・ファームを作ることで地域の活性化をはかりたい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒程度、単車免許、実務経験(あるほうがよい) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

12/27

記入 平成2年2月15日

調査者氏名 月井 孝文
土屋 宏文

261-90008

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|-----------------------------------|----------|-----------------------------|--------|-------|
| セネガル | (現地公用語) ARBORICULTURE (日本語) 果樹 | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 91年1月 | |
| (1) 配属先 <u>Ministère de la Protection de la Nature</u> | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): <u>Direction Eaux, Forêts, Chasse et Conservation des sols</u> (日本語): <u>自然保護省水森林狩猟土壌保全局</u> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <u>Projet de Coopération pour la Promotion de la Végétation</u> 日本語名称(録の推進協力プロジェクト) 所在地: <u>ディエスサ</u> au Sénégal 主要都市(ダカール)から <u>70</u> キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <u>セネガル政府が推進している「住民の森」計画により地域住民団体に対し共有林, アグロフォレストリーの造成を奨励している。プロジェクトの活動はディエサ州の苗圃における苗木生産(20~25万本), ディエサ州の住民向け普及活動。</u> | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>Diakhao 苗圃, 倉庫, 守衛詰所, 自動整備工場, 事務所, 苗圃用給水塔等</u> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <u>農業技術者</u> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <u>果樹栽培に関する幅広い知識と経験が必要</u> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <u>「セネガル録の推進協力プロジェクト」の一員として活動, 他職種隊員との共同作業に参る。</u> <u>具体的な活動は農村を巡回し果樹栽培の普及に努めるとともに, 果樹, 野菜, 植林を組み合わせたアグロフォレストリー作りを行なう。(バナナ, レタス, トマト, エビ, 水ナス, 10/10竹等)</u> | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: <u>対象者: 農民, カウンターパート: プロジェクト出向職員1名(植林技官)</u> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: <u>トラクター, 大型トラック(4t), タンカー, ビックアップ, 自動車整備機材, 農具等。</u> | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <u>フランス語 > ウェルツ語</u> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>セネガルにとって石炭化防止は国政の一大目標であり本プロジェクトに対しては技術者集団として総合的な村づくり, 植林(住民の森等)アグロフォレストリーに期待を込めている。また現在ディエサ州周辺への普及のみならず, ディエサ州全体の活動拡大を期待している。</u> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>農学系大学卒程度 (学卒免許) 経験あるほうが好ましい。</u> | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 13 年 8 月 1 日

調査者氏名 本間 誠

31986027

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|----------|------------------------------|--------|-------|
| コロンビア | (現地公用語) FRUTICULTURA (日本語) 106. 果樹 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不明) 人 | 年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Corporación Autónoma Regional Rio Negro y Nare. (日本語): リオネグロ地域開発公社 (CORNARE) | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称() | | | | | |
| 所在地: Autopista Medellín-Bogotá 54km Santuario 主要都市(メデジン市)から 54 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 当開発公社は設立から 4 年程の公社で、現在メデジン市郊外、リオネグロ、サントゥアリオ市を中心にマグダレナ川に至る地域の総合開発事業に取り組んでいる。サントゥアリオ市に本部があり、各地に 4ヶ所の支部が置かれている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真貼付が望ましい): 公社本部(サントゥアリオ市)成内支部 4ヶ所、植林の苗床 3ヶ所、公用車(ジープ、トラック等) 14 台、水質検査試験所、東カリカ大学共用農業試験設備。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 技術顧問 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 当地での熱帯果樹に加え、商品価値の高い果樹の栽培技術指導、普及加工の知識、技術が求められたい。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 当公社が援助している各地域の協同組合において果樹栽培の技術指導から有用種の普及、市場調査、輸送指導、一次加工等の指導に当たる。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 試験農場で一般農機具、トラクター 3 台 | | | | | |
| ⑥ 第 3 国人等の配置状況: JOCV 3 名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は域内のダム建設とともにその構想がもたらした水力発電の売電の一部が公社の活動資金となっており、① 地域開発のプランニング、② 各自治体に対する行政指導、③ 水、森林資源の保護と活用、④ インフラストラクチャの整備、⑤ 地方自治計画をいも業務としており、農業分野においては地域有農民への技術指導や農民の工の可利性を強く関心を持っている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (農学部卒) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9月 7日
調査者氏名 本間 誠

3198910.5

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 |
|--|--------------------------------------|----------|-----------------|--------|
| コロンビア | (現地公用語) FRUTICULTURA (日本語) 106.果樹 | 新規 交替 | (男) 1 (男女不問) | 年 月 |
| (1) 配属先 | | | | |
| 1. 配属先名称 (現地公用語) DEPARTAMENTO ADMINISTRATIVO NACIONAL DE COOPERATIVA (DANCOOP) | | | | |
| (日本語) 協同組合管理局 | | | | |
| 2. 隊員勤務先名称: COOPERATIVA DE CHIQUINQUIRA 日本語名称 (キンキ農業協同組合) | | | | |
| 所在地 : Carrera 14 No.18-02 CHIQUINQUIRA 主要都市 (キコ) から 120 km | | | | |
| 3. 事業規模及び内容: 組合員360名 (含準組合員) を有し、他国家機関の支援のもとに果樹、野菜栽培の指導を行っているほか、直営店における生活必需品等の販売も行っている。 | | | | |
| 4. 設備概要: キンキ中央市場内の直営店、及び約4 Haの実演農場。 | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | |
| 1. 隊員の業務上の地位: 技術指導者 | | | | |
| 2. 技術の範囲: 実演農場の管理及び果樹栽培に関する基本的な技術。(桃、リンゴ等) | | | | |
| 3. 業務の形態: 実演農場内に於ける果樹栽培の管理と指導。 キンキを中心に半径約7~10 Kmに居住する組合員、地域農民に対する技術指導及び、果樹栽培の奨励。 | | | | |
| 4. 対象者およびカヴァーの技術水準、学歴・年齢: 組合員360名及び地域農民。 | | | | |
| 5. 現地で利用できる機材: 簡易Ph計、簡易土壌検査器。 | | | | |
| 6. 第3国人等の配置状況: JOCV 2名 (野菜、村落開発) | | | | |
| 7. 使用する言語: スペイン語 | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当組合は創設して数年の新しい組織のためまだ実質的活動が不十分である。また組合員、地域農民の技術レベルも低いため隊員を受け入れ技術向上をはかろうとしている。当地域はカバと呼ばれる果樹の一大産地であるが、生産が頭打ちの状態であり他種果樹の導入も期待される。 | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○で囲むこと): 果樹栽培の一般的知識。(リンゴ、桃等) 経験あれば望ましい。 | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} 昭和 2 年 3 月 8 日

調査者氏名 山際秀雄

89101

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名* |
|--|--|----------|------------------------------|---------|-------|
| グアテマラ | (現地公用語) FRUTICULTURA (日本語) 106 果樹(栽培) | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人 | 3 年 3 月 | |
| (1) 配属先 INSTITUTO DE CIENCIA Y TECNOLOGIA AGRICOLA (ICTA) | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): 農業科学技術庁 | | | | | |
| (日本語): | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: CENTRO DE PRODUCCION AGRICOLA, REGION 6, 日本語名称(ケサルテンango) 主要都市(グアテマラ)から 210 キロ | | | | | |
| 所在地: QUTZALTENANGO | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 全国 8420 にある農・試の一つ。約 25 人の農業技術者が勤務。地域住民の社会経済レベルの向上と生産性向上のために必要とされる技術の導入普及を図る。ケサルテンango 農・試では主に果樹の栽培開発を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 植物病理学, 土壌, 果樹生理学等の実験室を有す。農場面積は約 20 ha, 平成 2 年 4 月より果樹組織培養の実験室も完成。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業試験場の研究技士 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 桃の品種改良, 白桃の原種の性格付け, 優良品種の選定, 果樹間交配の評価。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農業試験場の一員として, 8:00 より 16:30 まで農場や実験室で活動。試験場内の宿舎に生活する。月～金曜まで活動。土・日曜は休日。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: C/P は未定。場内の技士は大学の農学技士か又は高専卒。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 上記(1)～(4)に記載の実験室。必要な薬品・機材は大体揃っている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 専門家 2 人(米國, 台湾) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スパイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: グアテマラは美味しい果物の産地として中米でも定評ある国。しかし桃, 梨, リンゴ等は生産量は多いものの, その品質, 甘味, 生産効率に於ては非常に劣る。このため在来の原種を用いた古くからの栽培者に手を加えて新品種の導入; 又は育成と, これによる品質と生産性の向上が期待される。ケサルテンango は, グアテマラ国内でもこれらの果樹生産の中心地である。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学部卒。経験 2 年以上。果樹(特に桃)の品種改良に精通。 | | | | | |
| * 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 9日

調査者氏名

山際 秀雄

90002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|-------------------------------|--------|-------|
| グアテマラ | (現地公用語) FRUTICULTURA (日本語) 果樹(植物組織培養) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人 | 3年3月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO DE CIENCIA Y TECNOLOGIA AGRICOLA (ICTA) (日本語): 農業科学技術庁 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: CENTRO DE PRODUCCION AGRICOLA, REGION 6 日本語名称: 6地域農業試験場 所在地: QUETZALTENANGO 主要都市(グアテマラ)から210キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 全国8ヶ所にある農試の1つ。約25人の農業技術者が勤務。 地域住民の社会経済レベルの向上と生産増大のために必要とされる技術の導入、普及を図る。6農試では主に果樹の栽培開発を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 植物病理学、土壌、果樹生理学等の実験所を有す。 農場面積は約20ha。平成2年4月より果樹組織培養の為の実験室、温室が完成。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業試験場の研究技士 | | | | | |
| ② 技術の範囲: リンゴ、ナシ、モモ等のウイルスフリー株の増殖、又はウイルスフリー株作出の為の茎頂培養についての研究 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農業試験場の一員として午前8:00より午後4:30まで農場や実験室で働く。 農場内に宿舎がある。土曜日は休日。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 未定。同農場内。技士は大学。 農学部卒や殆んど。他は高専卒。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 上記(1)-(4)に記した実験室、薬品、機材は、最低必要なもの はすべて揃っている | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 専任2人(アメリカ、台湾)ただし組織培養については経験少ない。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: グアテマラは美味しい果物の産地として中米でも定評のある国。 しかしながら、桃、梨、リンゴ等は、その生産量は多いものの、その品質、甘味、生産効率に 於ては非常に劣る。このような在来の品種を使つての古くからの栽培に手を加え、新品種の 導入、又は育成とこれによる品質と生産性の向上が期待される。 ケツァルテンangoは、グアテマラ国内でもこれらの果樹生産の中心地である。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農学部卒。経験2~3年。果樹の組織培養に精通。圃場実施経験があれば さらに良い。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 8 月 19 日

JA-104

調査者氏名 -

関 文 寿

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|-----------------|-----------------------------|----------------|-------|
| パナマ | (現地公用語) <u>Horticultura</u> (日本語) <u>果樹</u> | <u>新規</u> 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 65年2月 64/2次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): <u>MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA</u> (日本語): <u>農 牧 省</u> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <u>Escuela agropecuaria y forestal de Concepción</u> (日本語名称 <u>コロンビア国立農業高校</u>) 所在地: <u>コンセプション</u> 主要都市(アシエン)から500キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <u>1938年創立1976年現校舎に移る。全寮制6年制農業高校(男子のみ)卒業後</u> <u>大学進学可能。現在生徒数120名(年度180名予定)。農業一般及び一般科目について</u> <u>学ぶ。専門科目教員6名(アシエン大学卒)助手6名(卒業生)一般科目教員8名。</u> | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>教室、寄宿舎、教員住宅、発電設備、</u> <u>実習農場、自給用農園、畜舎(豚、牛、鶏)</u> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <u>専門科目教員</u> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <u>農業一般知識、果樹一般知識(苗木生産、つぎ木、高木更新、整枝、刈定、施肥</u> <u>等)に専門的知識が細かい技術は施さぬ。自信のある品種をこころをこめて。</u> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <u>授業時間 AM 7:00-11:00 PM 1:30-5:00 各学年と日別の授業の3/4が</u> <u>(午前中、或いは午後)それ以外教室授業或いは農業実習とする。</u> ① 同僚教員と共に、実習指導を行う。 ② 語学がと達すれば単独で授業を持つことも可能 ③ 上級学年生徒(2名程度)と共に、周辺農家へ指導を兼ねた実習へ出る ことも検討されている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>第一学年全員(ほぼ日本の中高校生1-2</u> <u>当)特定のカウンターパートがつかないが不明。但し全教員とも農学部卒でそれ以上のレベルを持つ。</u> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: <u>大型トラクター1台、小型トラクター1台、一般農具</u> <u>絞牛回頭</u> | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし</u> | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <u>スペイン語、ガラニ語(日本での学習を要しない)</u> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>同校はコンセプション市中心より約7kmに位置し、同市の中心</u> <u>から全県の広い範囲から生徒を集めている。現校長は1988年赴任、学校のレベルアップと</u> <u>地域の向上策に強い意欲を持っており、優秀な教育の確保を切望している。(この</u> <u>生徒が帰国して)日本の進んだ農業技術(但し(当国に適用可能なもの)を学ぶこと)を希望し、</u> <u>日本人の計画性、勤勉性、責任感などを教員、生徒達が何かと学ぶことと期待している。</u> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>(大学農学部) (実務(果樹)経験2年以上) (自信のある品種がほしい)</u> <u>教育職経験があると望ましい。</u> | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2 年 3 月 9 日

調査者氏名

堀川 満

90-009

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|-----------------|------------------------------|------------------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) Fruticultura (日本語) 果樹 | 新規 <u>交替</u> | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1999年2月 2年/2次 | |
| (1) 配属先 MINISTERIO DE AGRICULTURA Y GANADERIA, DIRECCION DE INVES- | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): TIGACION Y EXTENSION AGROPECUARIA Y FORESTAL | | | | | |
| (日本語): 農牧省 農牧畜試験普及局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: M.A.G., D.I., E. A. F. CAMPO EXPERIMENTAL 日本語名称(シヨレ農業試験場) | | | | | |
| 所在地: AGRICOLA DE CHORE, サヤカ県 シヨレ市 主要都市(アスンシオン)から200キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 同試験場所有の84haの圃場で熱帯果樹(マンゴ, バナナ, アボカド柑橘類)工芸作物, 植林等の試験, 調査を行っている | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 試験場舎, 1棟, 84ha圃場, | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 果樹担当職員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 果樹園及び苗床の管理販売, 果樹栽培法の一般知識, 接木技術 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 果樹園において, マンゴ, バナナ, 柑橘類, カキ, ピワ, アボカド等の栽培管理指導, 各木の養成及び接木の指導 | | | | | |
| 勤務時間: 午前7:00~11:30, 午後14:~17:00 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 大学農学部卒28才, 経験年数3年, 果樹についての知識が豊富 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 必要な資材はほぼ整っている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツ人専門家(GT2) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語, グラニ-語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 果樹栽培の普及により市場の開拓を目指しているが, 果樹に対しての豊富な知識が無い為, それを少しづつ普及指導にしたい。 | | | | | |
| 技術 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| 熱帯果樹及び柑橘類の接木経験。 | | | | | |
| 大学農学部 果樹専攻者 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63年 6月 6日

調査者氏名 瀧下良信

01388021

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---------------|----|-------------------|--------|-------|
| 中国 | (現地公用語) 食用菌栽培 | 新規 | (男) 1人 | 64年 7月 | |
| | (日本語) きのこ | 交替 | (女) 人 (男女不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): 天津市科学技术委員会 | | | | | |
| (日本語): 天津市科学技术委員会 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 天津市林业果树研究所 日本語名称(林業果树研究所) | | | | | |
| 所在地: 天津市南开区复康路 主要都市(天津)から 15キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 当研究所は、天津農業科学院に属する9つの研究施設の1つ。職員数90名。実験場面積4haで主に果樹を研究対象としている。今回隊員の要請があり、たのほ、きのこ菌類研究室で、スタッフ数4名、菌株の選別と、 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 栽培技術の研究を行っている。 | | | | | |
| 別添 写真 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 林業果树研究所菌類研究室の研究スタッフ | | | | | |
| ② 技術の範囲: 当研究所スタッフとして、以下の点について研究・開発・技術指導。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: a. 菌株の選別(優良な親株の選別) | | | | | |
| b. 栽培技術の研究(現在、いたす、金針菇、平知キノコ地を栽培中) | | | | | |
| ・一年を通して安定した生産を得る方法の確立。 | | | | | |
| ・親木の素材開発(中国では木材資源が不足している為、コブ不等を使っているが、...成果が得られない。) | | | | | |
| c. キノコの加工製品開発 | | | | | |
| ・キノコ・エキスなどによる健康飲料など。 | | | | | |
| ⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学後 経験4年 1名 及び 専門学校卒業 経験3年 1名。 | | | | | |
| ⑥ 現地で利用できる機材: 無菌室、菌発生実験室(エアコン付、2室)、400㎡の大産産試験室 | | | | | |
| ⑦ 第3国人等の配置状況: 天津農業科学院の同系列研究室である蔬菜研究室に日本の民間企業の農業技術者1名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 中国語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 隊員への要望項目、上記b~c、現在、中国の菌類栽培技術が直面している問題である。日本の先進技術の導入により問題解決を計りたい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校卒以上、菌類の研究1年以上、きのこ栽培経験3年程度 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~日~~ 1989年 7 月 20 日

調査者氏名 足達太郎
三浦 敏

22789102

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|---------------------|-------------------------------|----------|-------|
| ガーナ | (現地公用語) Diseases and Pest Control (日本語) 1/5 病虫害 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人 | '90年 8 月 | |
| (1) 配属先 (63/2, 足達太郎) | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (Ghana Education Service) (日本語): 教育省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: St. Andrew's College 日本語名称(セントアンドリュースカレッジ) 所在地: Mampong A/R 主要都市(クマシ)から 60 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1学年1クラスの三年制農業教員養成校 (Diploma) 校長ふくめスタッフ16名 生徒数約150名 '90年9月に学士課程(Bachelor)設置。'92年に四年制大学(科学技術大学の1学部)に移行の予定。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室(5)、実験室(2)、図書館、講堂、学生寮(全寮制)、 職員住宅、農場、畜鶏舎など | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 作物保護学教師 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 応用昆虫学・特に植物病理学に関する知識・実務経験 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 教室での講義、実験実習指導、作物保護に関する試験・研究、展示栽培 以上学校近くには農場での活動も主とする。 | | | | | |
| 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は30才前後で教師経験(セカリー-)有り (別紙参照) | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 別紙参照 トラクター、乗用機等農業機械、肥料、農薬 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 別紙参照 当校の教員は全員大学農学部卒であり 農業各分野での講義・実習指導等に経験は豊富だが、応用昆虫学での指導経験 は非常に乏しい。来年当校に大学部併設が予定されており、農薬学での試験実 験、実習指導が不可欠とされている。この分野での協力活動にも期待 している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学卒)(農学部) 大学院修士課程修了を望ましい。 (英検 2級以上) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9 月 9 日

調査者氏名 田中敏裕

328 89102

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--------------------------------------|----------|------------------------------|-----------------|-------|
| ドミニカ共和国 | (現地公用語) ENTOMOLOGIA (日本語) 115 病虫害 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 90年 8月 H2/1次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Secretaria de Estado de Agricultura (日本語): 農務省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Centro Sur de Desarrollo Agropecuario 日本語名称(南部農業開発センター) 所在地: San Cristobal, Apatado 24 主要都市(首都)から 30 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: サクリスタビバ市郊外の本試験場(120ha)の他に、5ヶ所支場を 持つ。植物テクノロジー、植物保護、土壌水、統計分析の4研究 部門から成り立ち、職員数約300名、研究専任スタッフは60名弱である。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 植物病理、昆虫、雑草、微生物等類、土壌-水分 析実験室あり。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 植物保護部 研究指導員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 昆虫に関する専門知識と研究経験 害虫駆除法に精通している。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 昆虫実験室を中心に、西南部の昆虫採集・調査、研究 標本作りを行なう。近年の虫害状況を調査・分析し、虫害防 策プログラム作りに参加、指導する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者: 地域農民 カウンターパート: 農業技師(大卒) | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: | | | | | |
| 現在南部地域において Mosca Blanca と呼ばれる虫が大量発生し 野菜の栽培が全面的に中止されている状況である。一方では農薬の 乱用による汚染問題も深刻化しており、打開策を模索中である。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| 修士程度(農業、病虫害関連) | | | | | |
| 病虫害に関する知識と3年以上の経験 | | | | | |
| ※ 事務局記入 94 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 元年 月 日

調査者氏名 奥本秀一

ホンデュラス事務所

34989017



| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者 |
|--|--|-----------------|-----------------------------|-------------|-----|
| ホンデュラス | (現地公用語) Fitopatología y Entomología (日本語) 病虫害 115 | 新規 <u>交替</u> | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 平成 2年 2月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Secretaria de Recursos Naturales (日本語): 天然資源省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Proyecto Demostrativo Agrícola de la Esperanza 日本語名称をエスパーサ農業プロジェクト) 所在地: ラ・エスパーサ 主要都市(シゲパケ)から 90キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: エスパーサの冷涼な気候を利用して、野菜・果樹・穀物・花卉・キノコが 試験栽培され、林に付く害虫の防除研究も行われている。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 農場24ha, 事務所, 研修所, 実験室, 倉庫, 修理工場 冷凍室。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: Ingeniero (農業技師) | | | | | |
| ② 技術の範囲: フィールド調査, 実験計画, 実験, 分析処理, 結果報告など 植物病理学に おける総合的能力が必要である | | | | | |
| ③ 業務の形態: プロジェクトで栽培されている野菜・果樹・穀物・花卉において問題となっている 病害のフィールド調査及び防除に関する研究を行う 現在は、特にジャガイモの疫病について調査を行っており、 その防除法の確立と当農の目標としている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: | | | | | |
| 病害・虫害兼作のカウンターパート1人 (Ingeniero) | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡, イキバナー, ホットプレート, 試験管, シェレビカー, ビバート PHX-9, 滅菌箱 等... | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 平和部隊 (Cuerpo de Paz アフリカ) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: プロジェクトでは多くの作物が試験栽培され、かなりの成果を あげているが、ホンデュラスでは栽培されている主要な農作物の導入などもあり、病害防除の面で付 近しているのが現状である。特に病虫害の防除施設と持っている試験場はホンデュラス国内に おいて少なく、将来的にはこれが必要である。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 農作物の病害防除関係で3~4年の実務 経験のある者が望ましいが、大学及び短大で(植物病理学を専攻した者)も可 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

JV(FAX)091号 6/17

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 2 月 7 日
調査者氏名:梅沢 賢治

31990005

| 受入希望国名 | 受入希望案種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 |
|---|---|----------|----------------|--------|
| コロンビア | (現地公用語) SUELOS Y FERTIRIZANTES (日本語) 116. 土壌肥料 | 新規 交替 | () (男女不問)1 | 年 月 |
| (1) 所属先 | | | | |
| 1. 所属先名称 (現地公用語) CAJA AGRARIA | | | | |
| (日本語) 農業金庫 | | | | |
| 2. 隊員勤務先名: OFICINA DE EXTENSION, ZONA RISARALDA 日本語名称 (OFFICE) 農業普及所 | | | | |
| 所在地: CALLE 18 CARRERA 11 No18-01, PEREIRA 主要都市 (ペレイラ市) から キロ | | | | |
| 3. 事業規模及び内容: 中小零細自作農に対する営農指導を中心とする普及事業の実施。 | | | | |
| 4. 設備概要: 普及事務所 | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | |
| 1. 隊員の業務上の地位: 農業普及員 | | | | |
| 2. 技術の範囲: 土地改良に関する知識。特にみみず*をつかった土地改良。みみずの養殖。 | | | | |
| 3. 業務の形態: 1987年より開始された普及事業は未だ組織的にも指導技術並びに指導内容も未熟であることから、専門分野はもとより普及事業の質的向上を計るための普及員に直接指導すると共に、所長の相談役と巡回指導のためのサトウでの勤務が合い半ばすることになる。 | | | | |
| 4. 対象者及びサトウハートの技術水準、学歴・年齢: 9名。農業高校卒程度。 | | | | |
| 5. 現地で利用できる機材: 特になし。農業金庫に対して逐次申請する。 | | | | |
| 6. 第8国人等の配置状況: なし | | | | |
| 7. 使用する言語: スペイン語 | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大土地所有制の現存する当国において貧困の撲滅を最優先の政策とする現政権に取って、零細農家の生産制向上はきわめて重要な課題である。本要請は満足して間もない普及事業に質的充実を計ることを目的としている。 | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○で囲むこと): 農学部卒 | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{手記} 昭和 元年 9 月 6 日

調査者氏名 - 堀川 満
藤田 英雄

89- 101

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|---|------------------------------|---------------------|-------|
| パラグアイ | (現地公用語) SUELOS Y FERTILIZANTES (日本語) 土壌肥料 | 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 平成 2 年 8 月 2/1 次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería (日本語): 農 牧 省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Instituto Agropecuario Salesiano Carlos Pfaendl de Cnel. Oviedo 所在地: カルロスオベド市北東部ドナタス・マシオン | | | | | |
| 日本語名称 (カルロスオベド農学校) 主要都市 (オベド市) から 10 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 3年制で各学年60名。終生徒数180名の男子校。全寮制。敷地3,000ha。 地内に学校経営維持管理のため、学生、職員、労働者約300名が居住し、実習農園を管理している。カトリック系のミッション・スクール。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 教会、図書館、教室、生物化学実験室、学生寮、職員室、職員住宅、 附属農場、養鶏場、養豚場、農業機械整備場、製材所、生産物販売所など。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 専任教師 (実習活動が主となる) | | | | | |
| ② 技術の範囲: 土壌管理、改良に対する知識と応用能力、学生への指導も担当する為、土壌肥料全般に対する幅広い知識が必要。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 当校附属農場の土壌管理プロジェクトにおいて、指導的な役割を果たす。又、学生に対する実験・実習も重要な任務である。その内容については、隊員に教えられるので、本人の専門性、能力に応じて計画実施していく。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カンパートは配属時お下決定お予定済み 学生 16~18才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 農場での作業に必要なトラクターを始め、大むね学校が所有している。科学肥料、薬剤等も現地調達できる。化学実験室ではPHメーター 精密天秤及び何れのガラス器具が揃っている。実験圃場も確保可能。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 隊員1名 (農業機械) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スペイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 附属農場(30ha)では長年に渡る粗荒的耕作に於、肥沃性の著しい低下が問題となっている。そのことはパラグアイ農業全般についても云えることであって、適性な土壌管理技術の必要性が高まっている。現在活動中の隊員が肥沃性向上の為の土壌管理プロジェクトの計画立案にあたり、その実施に当たって協力隊員の継続派遣を強く要望している。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学農学部、肥料又は土壌学専攻 栽培試験等作物栽培の経験があると不変。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成元年 9月12日
調査者氏名 石田 政幸・丸田 秀士

413 89105

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--------------|----|-------------------|--------|-------|
| PNG | SOIL SCIENCE | 新規 | (男) 1人 | 2年 7月 | |
| | 土壌肥料 (116) | 交替 | (女) 1人 (不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ①配属先名称 (現地公用語) : Wau Ecology Institute (日本語) : ワウ生態学研究所 | | | | | |
| ②隊員勤務先名称 : 同上 所在地 : モロベ州・ワウ 日本語名称 () から 150 キロ 主要都市 (ラエ) | | | | | |
| ③事業規模及び内容 : 当研究所は非営利・非政府団体であり、運営経費は他団体および他国の研究機関からの寄付、コーヒー農園とホステル経営の収入から得ている。動植物の調査研究、環境保全のための水質および土壌分析調査を行っている。また、動植物に関する書物を出版している。 | | | | | |
| ④設備概要 : 事務所、図書室、動植物標本室、理化学実験室、職員住宅、ホステル、動物園、農場、コーヒー加工場 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ①隊員の業務上の地位 : Environment Monitoring Program Leader | | | | | |
| ②技術の範囲 : 土壌の理化学分析、川などの水質分析に関する知識と技術 | | | | | |
| ③業務の形態 : 金鉱山からの排出物により汚染されている河川の水質調査および検査 他機関からの依頼による、PNG各地の土壌養分の分析調査 上記に関する、カウンターパートへの技術指導 | | | | | |
| ④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 対象者がすなわちカウンターパートとなる。20才前後の青年2人、1人は林業単科大学卒業、もう1人は中学卒程度。 | | | | | |
| ⑤現地で利用できる機材 : 原子吸光計、分光光度計、ロータリーエバポレーター、乾燥機、粉碎機、遠心分離機、各種ガラス器具、重測定装置、土壌調査道具一式 | | | | | |
| ⑥第3国人の配置状況 : 協力隊員以外はいない | | | | | |
| ⑦使用する言語 : ビゲン語、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 3代目の隊員要請である。JOCVからの支援機材を有効利用し、PNG人土壌学研究者を育成することが強く望まれている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲む) : (大学卒業)(土壌学) 水質分析の知識、技術 (重金属分析、公衆衛生) | | | | | |
| ※事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 9 日

028 89101

調査者氏名

山崎 昇

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|------------------------------|---------|-------|
| Laos | (現地公用語) Agriculture Engineering (日本語) 120 農業土木(水管理) | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2 年 7 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Vientiane Prefecture | | | | | |
| (日本語): PROJECT | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: THA GON RURAL DEVELOPMENT (日本語名称(タイ地域開発事業)) | | | | | |
| 所在地: タイ 主要都市(バンコク)から 25 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1) 610x79-W のポンプによる灌漑農場(稲作中心) | | | | | |
| 2) 620戸の農家が入植し、1戸別約1x79-Wを耕作している。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 1) 汲み揚げるポンプ 0.54ton/Second 5台, 2) 排水ポンプ 4ton/Second 2台, 3) 施設, 設備の概略を別添資料参照。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: アドバイザー | | | | | |
| ② 技術の範囲: 既存の灌漑施設(設備)による農場内 610x79-W の水管理 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 現場型(農場内を定期的に見回りし、必要に応じて必要量の水を供給するための水管理技法をカウンターパートに体系的に取得させる。) | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 1) 人数 8人 2) 年齢 27~40才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 上記④の設備概略の通り。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ラオス語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本人の勤勉さ, 技術の確かな, 仕事の能率等を協力隊員を通じラオス人カウンターパートに学ばせたい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水管理の出来る人 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新-7

記入 昭和 63 年 9 月 26 日

調査者氏名

船川 達

04088110

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|----------|------------------------------|-----------|-------|
| ネパール王国 | (現地公用語) Agriculture Engineering (日本語) 農業土木 | 新規 交替 | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1989年 7 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Panchayat & Local Development (日本語): 地方開発省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Rural Area Development Council (日本語名称(地方開発委員会)) 所在地: 本部カトマंडゥ, 70227サイト-地方 主要都市()から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: RADCIは兵衛地開発のため, 郡レベルの小規模灌漑プロジェクトと吊り橋プロジェクトを実施している。灌漑プロジェクトは概西開発地域を除く, 4開発地域にて46計画がある。灌漑規模は50ha~600haと多様 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2ヶ所 / プロジェクト | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: サブ・ワズ, オフィサー | | | | | |
| ② 技術の範囲: 灌漑工事に必要な技術, 測量, 設計, 施工管理 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 兵衛地小規模灌漑計画の下に実施されている, 各地域の灌漑工事にかかわる測量・設計・現場監督の業務を行う。また, オ・サ・シ・ア・ト・レ・ニ・ケ・トによりネパール人オーバーミヤを対象とした技術指導を行う。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Overseers, 工業同技術程度, 20代 30代 40代 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 測量用具等 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: オラニヤ, トイアボフアス(シニアワズ) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ネパール語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 兵衛地住民の社会, 経済的向上のため, ネパール国には吊り橋架設時の交通路の確保と生産性向上のための小規模灌漑工事にかまかっている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 大学農業土木系(工学系)卒業以上 ○ 修士課程 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ~~昭和~~ 元年 9月 6日

調査者氏名 久保田 勉

235-89-102

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名 |
|---|---|----|------------------------------|--------|------|
| ケニア | (現地公用語) Agriculture Instructor (日本語) 農業土木(土壌学灌漑学)替 | 新規 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人 | 年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Technical Training and Applied Technology (日本語): 技術訓練応用科学省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Ukamba Agriculture Institute 日本語名称(ウカンバ農業専門学校) 所在地: P.O. BOX 459 KITUI 主要都市(キヤンバ)から 80 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 生徒数 120名, 職員 10名. 農業土木コースのほか, 食用作物, 家畜飼育, 農業経営・経済, 農業教育, 応用科学のコースがある. | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): アドミニストレーション・ワークショップ・農場・クラスルーム等 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業土木コースのインストラクター | | | | | |
| ② 技術の範囲: 半乾燥地帯における土壌学・灌漑学・農業測量・農業施設 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 教室内での授業, 農場での実技・実習指導及び職員室でのデスクワーク(カリキュラム作成など) | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象生徒の大部分は中学卒業生, カウンターパートは専門学校卒業程度 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 一般農具以外にほとんどない. | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし. | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業土木コースにおける授業内容のレベルアップ, 半乾燥地帯であるため作物の育生が難しく, 勤勉で優秀な日本人技術者に対する期待は大きい. | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1. 農業土木に関する総合的な知識及び経験(大学卒以上) 2. 自己の健康管理能力 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 昭和 2年3月9日

調査者氏名 ケニア
事務所長

23590010

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|-------------------|-----------------------------|----------|-------|
| <u>ケニア</u> | (現地公用語) <u>AGRICULTURAL ENGINEERING</u> (日本語) <u>農業土木 120</u> | 新規 <u>(交替)</u> | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1990年12月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): <u>MINISTRY OF REGIONAL DEVELOPMENT</u> (日本語): <u>地域開発省</u> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <u>LAKE BASIN DEVELOPMENT AUTHORITY</u> 日本語名称(<u>ビクトリア湖周辺開発公社</u>) 所在地: <u>P.O. BOX 804, SIAYA</u> 主要都市(<u>ナイロビ</u>)から450キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <u>ケニア国西部のニヤンザ州, ウェスタン州, リフトバレー州の一部を含む, ビクトリア湖周辺開発計画の立案・調整・実施を行なう機関である。職員は約1800名。</u> | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>日本国援助で入手されたトラクター30台, 灌漑用ポンプ, エンジン, パンプス, スプリングラ-各40台等。</u> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <u>エンジニア(課長級)</u> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <u>畑地灌漑排水, 水田灌漑排水, 等, 農業土木全般におよぶ。</u> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <u>農業土木エンジニアとして設計, 施工を業務として行なう他, YALA SWAMPの場合, 水田の施工と拡張のための設計及び現場監理が主な業務となる。</u> | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: <u>カウンターパートはなし。</u> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: <u>測量機材, レベル, トランシット, 平板, 製図道具, ドラフター等。</u> | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし。</u> | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <u>英語</u> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>当国には農業土木関係の技術者が非常に少なくなり, 協力隊に対する期待及び信頼は大きい。</u> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>(大卒) (英語力) (実務経験2年以上)</u> | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和五十八年 9 月 5 日

調査者氏名 月井 苛元
後藤 有右

261-89008

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|----------|--------------------------------|-----------|-------|
| セネガル | (現地公用語) Genie Rural (日本語) 120 農業土木 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 人 | 職 2 年 1 月 | |
| (1) 配属先 <u>Ministere Developpement Rural</u> | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語) <u>La Direction de l'Agriculture</u> (日本語): <u>農村開発省 農業局</u> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <u>L'Inspection Regionale de l'Agriculture</u> 日本語名称 (<u>ジギンジョール農業州事務所</u>) 所在地: <u>Ziguinchor ジギンジョール de Ziguinchor</u> 主要都市 (ダカール) から 450 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <u>ジギンジョール州内の農業全般について統轄している。農業技術普及、農地区画整備、農道整備、病害虫防除、農業統計と活動は幅広く、技官も郡バムに1~3名派遣している(CER志向)</u> | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>事務所、カージ、倉庫。</u> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <u>農業土木技術者</u> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <u>農業土木全般の知識と経験 それにそとよく応用力、農業一般に関する知識も当然必要。</u> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <u>州内で、セネガル側プログラム、協力隊員の活動している村々での農地の区画整備、農道整備、畑内の給水システム、配管等にあたる。活動内容は巡回になるが、セネガル側、同地域で活動中の隊員、ホラニアの要請を受けて活動を展開することになる。</u> | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>事務職員、SOMIVAC職員、DERBAC職員の中の同業種の技術者、技官。</u> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: <u>なし</u> | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <u>フランス語、ジョラ語</u> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>カザンズ地方(セネガル南部)はジョラ族を中心に農業を主業とし、セネガル河流域となる農業地帯で、食糧増産への期待は非常に大きい。しかしその農業は慣行農業であり、農地区画整備も農民自ら決定した技術的根拠のないものが多い。隊員には技術にそとついた農地の区画、整備の指導を期待している。</u> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>(単身免許) 農学系大学卒業、経験はあればあるだけよい</u> | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

14/37

記入 昭和52年 8 月 19 日

調査者氏名 月井 亨文
佐野 隆

261-90009

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|------------------------------|---------|-------|
| セネガル | (現地公用語) GENIE AGRIC RURAL (日本語) 120 農業土木 | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 91年 / 月 | |
| (1) 配属先 <u>Ministère de la Protection de la Nature</u> | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): <u>Direction Eaux Forêts Chasses et Conservation des Sols</u> (日本語): <u>自然保護局 水森林狩猟土壤保全局</u> | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: <u>Projet de Coopération pour la Promotion de la Végétation</u> 日本語名称(線の推進協力プロジェクト) 所在地: <u>ティエス市 (Thiès) au Sénégal</u> 主要都市(ダカール)から 20 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: <u>セネガル政府が推進している「住民の森」計画により地域住民団体に対し、共有林、アケバレストリーの造成を奨励している。プロジェクトの活動は、苗木生産(20~25万本)、ティエス県での住民苗木普及活動である。</u> | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): <u>苗木(1ha)、守衛詰所、自動車整備工場、事務所、苗木用貯水槽(2)、育苗用プール、トラクター、大型トラック、ピックアップ等。</u> | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: <u>農業土木技術者</u> | | | | | |
| ② 技術の範囲: <u>苗木工事(造成、給排水施設、フェールの設計、施工等)、改良、増設工事の設計、施工管理、全体の監督等、工事全般に及ぶ。</u> | | | | | |
| ③ 業務の形態: <u>セネガル人労働者を指導しながら、工事作業に従事する。また、チームとして植林活動も行う。</u> | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>当該業種のカウンターパートなし。</u> | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: <u>トラクター、ミキサー他土木工事に必要な機械、工事用具各種、鍬、鍬、鍬一式、トランシット、レベル、コンパス等測量機械、青焼き機、プランナー</u> | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: <u>仏語 > ワカワ語</u> | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: <u>セネガルにとって、砂漠化防止は国政の一大目標であり、本プロジェクトに対しては技術者集団として総合的に村づくり、植林(住民の森等)のアケバレストリーに貢献することを期待している。また、現在のティエス市周辺への普及のみならず、ティエス州全域への活動拡大を期待している。</u> | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>大学卒業は専門学校卒(農業工学、土木工学)</u> <u>(運転運転免許) 測量士補、経験あるほうがよい。</u> | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 14日

調査者氏名 筒井 昇

273-90002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|--|-----------------------------|--------|-------|
| 7=サ=ア | (現地公用語) Agriculture Engineering (日本語) 農業土木 120 | 新規 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2年11月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture & Livestock Development (日本語): 農業畜産庁 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Zonal Irrigation Unit 所在地: ムワサ州、ムワサ市 日本語名称(灌漑局ビクトリア湖地帯) 主要都市()から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ビクトリア湖周辺における灌漑農業開発のコンサルタント業務。141地区においてビクトリア湖より「セルボ」の水を揚げて灌漑を行なっている。設計面積1539ha | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 小型トラック5台、バックホー1台、トラクター2台、110V-モーター1台、ミキサー、ポンプ、砕石機、測量器具一式。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 灌漑プロジェクト現場の技術主任。 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 測量(水準、平板、トランジット等) 水路設計施工、維持、管理 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 141現場において水路の測量、施工の作業の指導を行なう。又圃場の設計と施工をする。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 歴代の隊員との活動を通じ、一部の技術者を身につけてはいるが本格的な測量、施工計画、予算見積り等には不安がある。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スワヒリ語。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当初の予算より規模を縮小したものの、灌漑モデル地区としての同現場は周囲の農民に対する普及において意義があるため、早期の完成を期待されている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大学院、○業務経験2年以上。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2年 3月 14日

調査者氏名 筒井 昇

273-90003

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|----------|-----------------------------|--------|-------|
| フィリピン | (現地公用語) Agriculture Engineering (日本語) 農業土木 120 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 年 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Regional Development Director, Coast Region (日本語): コスト州 開発長官付 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Bagamoyo Irrigation Development Project 日本語名称 (バガモヨ灌漑農業開発) 所在地: バガモヨ 主要都市 (タビヤラウ) から 70 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ルフト川流域バガモヨ地区の約 2,000ha以上の灌漑農業開発を目標に、 1987年より8haの「実験圃場」がスタートした。灌漑は小型ポンプシステム、現在、耕作には 農民を巻き込み、栽培実験が実施中である。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 圃場8ha, 灌漑ポンプ3台, 水路, 排水路, 倉庫等 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: コスト州技術職員と同格 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 建設施工管理, 施設設計, 圃場計画, 水管理, タバシラクツイ技術等 F11。一般土木の技術が農業土木に応用出来る。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: ルフト川のポンプシステムによる実験圃場の供給にゆく段階の、11ヘクタール圃場 (100ha) の設計, 建設に向け。実験圃場水計画を中心に、施設建設, 維持, 水管理, 新規 圃場の計画をカウンターパートに指導する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 6名, 技術学校卒業 20~45才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 灌漑施設, トランシット, バイク, ECX-7-, コングリトミキサー等 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: JICA専任者 2名 (灌漑, 栽培), JOCV隊員 2名 (農業機械, 倉庫作業) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スワヒリ語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: コスト州配属の灌漑技術をいかに当プロジェクトで引き受け たり、現場実習の様式、フィールドでの指導体制強化を望まれる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○技術経験 (土木), ○農業高校以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和平成元年 3月 6日

調査者氏名

佐々木健一

00489001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|----------|-----------------------------|------------|-------|
| ブータン | (現地公用語) Agricultural Farm Machinery (日本語) 農業機械 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 平成 2年1月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Mini. of Agriculture, Dept. of Agriculture (日本語): 農業省農業局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Agriculture Machinery Center (AMC) 日本語名称(農業機械化センター) 所在地: Bondey Farm, Paro 主要都市(ティンポー)から57キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 職員約90名。農具製造部。農機具修理部。重機修理部。部品販賣部。 機械貸借部。訓練研修部がある。 ブータンにおける農業機械化の中心組織である。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各種作業場・修理工場。 87年、日本の援助により近代的な修理訓練センターが完成した。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 整備指導員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 大型トラクターの修理技術。(特にディーゼルエンジン及び油圧装置) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 大型農業機械(主にトラクター)の整備指導。 実際の整備・修理を行なうなかでブータン人の技術指導も行なう。 整備員は約15名。トラクターは小・中型は日本製(クボタ、15~30馬力) 大型はFord(40~50馬力) また、可能であれば重機(ブルドーザー、エキスカバター等)の整備も行なう。 重機は、小松、インターナショナル製。(小松D50、PC60、I.N. TD20) | | | | | |
|) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 整備員は殆んど職業訓練校卒。経験3~15年。 カウンターパート予定者は89年3月よりJICA研修員として日本研修中。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 工具。工作機械等基本的なものは揃っている。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: JOCV2名, JICA専門家1名, UNV(オランダ, ヒルマ), JNV(オランダ), USA | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語, ソンカ語, ネパール語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 労働人口の少ないブータンでは農業機械化が重要課題とされ、AMCがその中心となって 耕運機、トラクターを始めとする機械の普及を推進し、同時に保守整備を行なっている。 しかし、現地の整備員の技能は充分でなく、又数も少ない。今後ますます増えることが予想され る農機の整備体制の充実が稼働率を高める上で重要となっている。これが農機の多くは | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 日本製であり日本人技術者の協力が求められている (トラクターの整備経験5年以上) 単車運転免許 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 9 月 8 日

調査者氏名 今村 甲

046 88102

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|------------------------------|--------|-------|
| フィリピン | (現地公用語) Farm Machinery (日本語) 125 農業機械 | 新規 交替 | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 89年3月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Western Mindanao State University (日本語): 西ミンダナオ大学 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: WMSU College of Agriculture 日本語名称(西ミンダナオ大学農学部) 所在地: San Ramon, Zamboanga City 主要都市(マニラ)から 25 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 西ミンダナオ大学は 9 学部、生徒数 11,600、教師数 300 名から成る総合大学である。農学部は 1980 年に設立された新しい学部で 3 コース 260 名の生徒 But 29 名の教師から成る。 (Agri-Business, Bachelor of Science in Agriculture, Bachelor of Agriculture Technology) | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: プロジェクトマネージャーの補佐役 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 実際に農業機械を運転操作でき修理できること、また Local Materials を利用し農機具の開発にもあたります。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: BSA の生徒に授業(2 単位)と実習を担当。また農民を対象に土曜日 4 時間、4 月間のトレーニングを行なう。更に、輸入農機具に頼らない現地生産の農機具を考察し製作する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業工学科卒農業機械専攻 1986 年 JICA 研修員として 7 か月半 筑波研修センターで研修経験有り。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター 2 台、ハンドトラクター 1 台、脱穀機、鋤接機等(写真参照) | | | | | |
| ⑥ 第 3 国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: セブアノ、タガログ、英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1980 年に設立されたばかりでスタッフが不足している。 プロジェクトマネージャーも事務処理に時間をとられ、プロジェクトに集中できない状態であり、隊員に期待するところが大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大学卒(農学部農業工学)、実際に農業機械の操作・修理ができること。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 9月 9日

調査者氏名

今村 甲

89110

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--------------------------|----------|-------------------|--------|-------|
| フィリピン | (現地公用語) Machine Tools | 新規 交替 | (男) 1人 | 2年7月 | |
| | (日本語) 25 農業機械 | | (女) 人 (男女不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Camarines Sur State Agricultural College (日本語): カリネス・スール農科大学 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上) | | | | | |
| 所在地: Pili, Camarines Sur 主要都市(ナガ)から 15 #ロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 大学院, 農学, 農業機械, 農業経営, 家政の各科, テクニシャンコースおよび高校からなり, 学生数約2,500名, 職員数約250名 (教員数約170名)の国立農科大学。敷地面積 740ha | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー | | | | | |
| ② 技術の範囲: 既製の農業機械, 機械に改良を加えたり, 考案, 製作を行なう。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: ・ カウンパートと共に農業機械, 機械の改良, 考案および製作。 ・ 農業機械科の5年生(10名前後)を対象に授業をもつ。 ・ 既存の農業機械, 機械の整備 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農業機械科卒業 28才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 別添リスト参照 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ビコール語, 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業機械科のスタッフ 11名のうち多くの者が20代であり, 実務経験が 少ない。しかし同科としては周知農家および学生に, 安価で便利な 農業機械, 機械を改良, 開発して紹介する予定であり 隊員への期待は 大である。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 大学または高専の機械科卒以上で 実務経験3年以上 ○ 派遣前に農業機械に関する研修2か月以上必要 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 63 年 < 月 / 日

調査者氏名 稲田武司

(14687008)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名 ※ |
|---|-----------------------------|----------|------------------------------|--------|--------|
| シリア | (現地公用語) (日本語) 農業機械 (125) | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 元年12月 | |
| (1) 配属先 (6/2, 11月迄) | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): GENERAL ORGANIZATION FOR CATTLES (日本語): 農業農村改革省 酪農公団 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Deraa CATTLE STATION 日本語名称 (酪農場) 所在地: タラ 主要都市 (タラ) から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 牛約600頭, 草200ha 前後 基礎的な牛の生産を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業機械技士 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 自動車, 酪農機械 (トラクター, ハーベスター, ベネ等) の整備 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 酪農場にシリアに上記機械の保守管理員が派遣される。 又、乳牛であるがシリア各地 8ヶ所に散在する8牧場の農業機械を扱っている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 技術力依り。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 特殊作業機械を除く, ほくくwaのかが利用可能。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: アラビア語, 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 機械類の保守管理の改善。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| ① 自動車整備士又級 ② 農機類の特に酪農機械のw/a整備知識 | | | | | |
| ③ 経験5年以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 2月 8日

調査者氏名 和泉 守

221-99-001

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名 |
|--|--|----------|-----------------------------|--------|------|
| エチオピア | (現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 125 農業機械 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 3年 7月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Higher Education Main Dep (日本語): 文部省 高等教育局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Jimma Agriculture College 日本語名称(ジマ農業短大) 所在地: イルバゲール州ジマ 主要都市(アディス)から350キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 全寮制, 生徒数約400名 教師数49名 付属農場(牛舎 鶏舎 養蜂場 畑) | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 農業機械実習場 ラボラトリー、グリーン | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業機械科教師 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 農業機械全般に対する知識 技術(取り扱い、操作、修理) 農業に関する中立的知識 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農業機械科教師として、他の教師と共に生徒に農業機械 全般について、授業を行う。 隊員は講義よりも、実習を担当することとなる。 農業機械の他、一般工作機械(旋盤、ボール盤等)の実習も 行うこともある。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクタ MF製3台、東ドイツ製2台、ブルドーザー1台 ディスクプラウ、ディスクハロー 等々(但しスペアパーツ不足により 壊れているものが多い)。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツボランティア、インド人 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業政策が最重要課題である当国において、当省と して農業大学の充実に力を注いでおり、日本人の新しい考え、創造性 による改善、又これによる教師 生徒の質的向上に対し、大いに期待を 寄せられている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>大学卒以上</u> , <u>英語力(授業の出来る)</u> <u>3年以上の経験</u> | | | | | |
| ※ 事務局記入 110 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和⁵⁷年 3月 / 日
 調査者氏名 三浦 敏

(22790002)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|-----------------------------|--------|-------|
| ガーナ | (現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械 (125) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2年12月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Irrigation Development Authority (IDA) (日本語): 灌溉開発公社 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: (Agricultural) Research Center(農業)研究所 所在地: Ashiaman (アシヤマン) 主要都市(アクラ)から30キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1989年に新設された研究所であり、現在職員約15名、研究員は新規に募集中である。公社灌溉プロジェクトの爲の研究及び農業普及員の研修を行う。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 建物4棟(稲作実験室等)研究用機械は単独機材供与で5千万円程度の物が平成2年4月頃入庫予定である。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業機械保守操作指導員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 現存農業機械の保守操作を指導する。農業機械及び用具の改良開発。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 1 公社スタッフ及び農民に各種農業機械の操作方法及び整備を指導する。 2 ガーナに適した農機具の開発を担当する 3 公社側依頼等により、地方の灌溉農場に出張し、農業機械の保守整備を指導する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は農民及び公社スタッフ、カウンターパート、操作保守、整備の現地経験は無し。大学卒。28才 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 電気溶接機、エアインプルーサー、高圧洗浄機、耕運機、動力脱穀機、脱芒機、石抜機、動力防除機、精米機、動力籾刈取り機(リーパー)他。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガーナでは農業の機械化が部分的に進行しているが、操作及び整備の技術指導者が不足している。また総てが輸入品であるため、必ずしも現地農業に適していない。従って、技術者の育成を最優先に、現地農業に適した農機具の改良が望まれる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 前記(2)-(5)の(機械類の保守操作が出来3事)(農業機械の自動車整備士2級以上)が望ましい | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 2 年 3 月 10 日
 記入 昭和

調査者氏名 ケニア 事務所長

23590011 (86004, 86005)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|-----------------|------------------------------|----------|-------|
| ケニア | (現地公用語) AGRICULTURAL MACHINERY (日本語) 農業機械 | 新規 <u>交替</u> | (男) 3 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 1990年12月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF REGIONAL DEVELOPMENT (日本語): 地域開発省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: LAKE BASIN DEVELOPMENT AUTHORITY 日本語名称(セクトリア湖周辺開発公社) 所在地: P.O. BOX 1516, KISUMU 主要都市(ナイロビ)から350キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ケニア国西部のニヤンガ州, ウェスタン州, リフトバレー州の一部を含むセクトリア湖周辺開発計画の立案・調整・実施を行なう機関である。 職員は約1800名 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): トラクター20台, 灌漑ポンプ, エンジン, ハックソー等。 (日本の食料増産援助で購入のもの) | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: エグゼクティブ (課長級) | | | | | |
| ② 技術の範囲: トラクターの保守管理及び部品調達等。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 同公社職員を対象に農業機械に関する技術指導を行なう。 また各農場に配備されている農業機械の保守管理を行なう。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパートはいない。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: ほとんどの機材が当国で購入可能。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業の機械化が推進されている中, 農業機械の専門家が少いため人材育成が急がれている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> (大卒) (実務経験2年以上) (英語中級以上) </div> | | | | | |
| ※ 事務局記入 112, 113, 114 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名

26188/08

月井 芳文

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|----------|-----------------------------|--------|-------|
| セネガル | (現地公用語) Entretien Machines Agricoles (日本語) 125 農業機械 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 90年2月 | |
| (1) 配属先: Secrétariat Executif des C.E.R. | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Secrétariat d'Etat à la Décentralisation (日本語): 地方分権庁 農村開発センター | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Centre d'Expansion Rural 日本語名称(農村開発センター) 所在地: 主要都市()から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 現在Ioha程度の農民育成センターを計画中であり、候補地をAR/CER及び各州レベルで選定中 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業技術者 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 農業機械一般に関する基礎的知識(大型だけでなく、小型農機に至る幅広い知識) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農民育成センター内の農場での農業機械の操作、維持・管理、修理を実習、講義をおり手で行なう。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象: 要考された農民 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: フランス語, 現地語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、セネガルには多くの農業プロジェクトが存在しているが本来対象とならねばならない農民に対する技術指導という点ではとどこおっている。このセンターでの農民特に青年層への技術移転によって、地域の農民リーダーの育成、1%ロット・ファー(女性)、地域の活性化をはかりたい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒程度, 単車免許, | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

404-90-001

記入 昭和平成2年 3月 10日

調査者氏名 木下 史夫
溝井 淳 (63/3)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|-----------------------------------|----|--------------------|--------|-------|
| フィジー | (現地公用語) Agricultural Machinery | 新規 | (男) 人 | 3年 3月 | |
| | (日本語) 125 農業機械 | 交替 | (女) 人 (男女不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語) Ministry of Education, Youth & Sport, Fiji Institute of Technology(FIT) | | | | | |
| (日本語): 教育省 技術訓練学校 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Western Division Technical Centre 日本語名称(西部地区技術訓練学校) | | | | | |
| 所在地: Namosau, Ba (FIT Ba School) 主要都市(ラウトカ)から40キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: Fiji Institute of Technology(FIT)の分校で、農業、秘書、商業科などがあり、約20名の教師、生徒数約300名を有する。農業科には教師数5名、生徒数約60名。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 教師(レクチャラー) | | | | | |
| ② 技術の範囲: 農業機械、農業土木、野菜栽培(キャベツ、豆、ニンジン等)、園芸等農業全般に広い(浅くてよい)知識をもつこと | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農業科でアシスタントとして現地の教師の授業(おもに実習面)の補助を行う。授業内容は、トラクターおよび作業機械(プラウ、ディスクハロー、スパイクハロー等)、ポンプ(手押し、モーター)金属加工技術を中心とし、可能であれば野菜栽培(キャベツ、マメ、ニンジン等)の指導も担当することがある。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は17才~23才で高校卒業程度。教師は25から40才程度で海外留学経験者から同校卒業生までさまざま | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター(インド製)2台、旋盤1台、ドリル盤1台、エアコンプレッサー(京セラ製)1台、工具類(主にインド製)多数。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業機械を中心に農業全般に関する新しい技術の吸収を望んでいる。特に実習面での指導者が不足していることから隊員の養成があがった。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| ○ 高校(農業科)卒業以上。 | | | | | |
| 農業機械士2級取得者が望ましい。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成} 昭和 2 年 3 月 日

調査者氏名 大野 政義

41390003

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|---|----------|------------------------------|---------|-------|
| P.N.G | (現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械(125) | 新規 交替 | (男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 3 年 7 月 | |
| (1) 配属先 Dept of Agricultural & Livestock Food Management | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Department of Central Province Division of Agriculture, Stock & Fisheries (日本語): セントラル州オシ次産業局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: D.A.S.F. Beveina (Hebea Nation) 日本語名称(オシ次産業局ベレイ支部) 所在地: ベレイ, セントラル州 主要都市(ポートモビー)から 130 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ベレイ一帯での農・畜産業の振興を目的に、効率的な生産を中心に、稲作などの普及を行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 機械整備士 | | | | | |
| ② 技術の範囲: トラクター、収穫機、精米機等、農耕機械全般にわたる修理、メンテナンス。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: D.A.S.F. のプロジェクト利用機械のメンテナンスを中心に、地域全体の農業関連機械の整備に従事する。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 稲作隊員 1 名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在稲作隊員が活動中であるが、オシ次産業局所有の車両、機械 10 数台のメンテナンス担当がおらず、プロジェクトの円滑運営のための整備が望まれている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業機械等の修理経験 | | | | | |
| ※ 事務局記入 117 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2 年 3 月 16 日

調査者氏名 堀、越 仁 氏

01390003

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|------------|---------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 中国 | (現地公用語) 養蚕 | 新規 交替 | (男) 2 人 | '91 年 3 月 | |
| | (日本語) 養蚕 | | (女) 1 人 (男女不問) 1 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): | | | | | |
| (日本語): | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 羅田县繭種場 日本語名称(羅田县繭種場) | | | | | |
| 所在地: 湖北省羅田县城关 主要都市(武漢)から 180 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 羅田县には 40000 亩の桑栽培面積があり 50,000 戸の農家が養蚕を かこなしている。1989 年の繭の生産は 1,700,000 Kg であった。当県に於ける農産物としては 粟に次ぐ、二番目に重要な農産物となっている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 羅田县繭種場では 200 亩の桑畑があり、年間 15 万箱 の原蚕を生産している。春蚕用の品種には 日 125 X 支 125 が使われている。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 工程士 (養蚕の普及員) | | | | | |
| ② 技術の範囲: 養蚕(蚕を飼育)の普及、生産増と質の向上 (調査時に配属先が希望に指導内容に特に ① 上簇の仕方 ② 繭の乾燥の 2 点をあげていた。) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 羅田县繭種場に所属し、県内の 養蚕農家に対し生産増と 品質の向上をほめる為の普及をおこなう。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は養蚕をおこなっている農民。 カウンターパートは繭種場の職員で専内学校卒 20 代 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 農家持ちをのぞき 羅田县繭糸絹総会社の車を使わせてもらう | | | | | |
| ⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 中国語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 山が全体の 8割を占める羅田县では昔から傾斜地に粟や桑を 栽培し、養蚕をおこなってきた。山間や当地に於いては粟栽培に次いで養蚕が重要な産業で あるが、生産量、品質ともに改善の余地が多くこのされており、国家科学技術委員会 も特に貧困対策の一つとして当地の開発に力を入れており、隊員の活躍により 生産量が増し、品質が向上することをおぼ、条件の悪い当地の人々が豊かになるよう期待されている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 2 年 3 月 16 日
 記入 昭和

調査者氏名 堀越 仁志

01390004

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--------------------------------|---------------------|-------------------------------|--------|-------|
| 中国 | (現地公用語) 繅絲(製糸) (日本語) 養蚕(製糸) | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人 | 91年3月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): | | | | | |
| (日本語): | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 湖北省国营罗田茧丝绸总公司 日本語名称(国营罗田茧丝绸总公司) | | | | | |
| 所在地: 湖北省罗田县凤山镇 主要都市(武漢)から180キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 1974年に会社が設立され1977年から生産を開始した。当地の産物は桑に次いで養蚕が重要で繭の生産量は年間2000tにのぼる。当社では年間150tの生糸を生産し、250万mの絹織物を生産している。職員数1,326人 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 113,500m ² の敷地に事務所、繭の選別所、生糸を生産する工場、絹織物を生産する機織工場、染色工場、職員住宅がある。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 工程士 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 繭から生糸を生産する製糸(特に繭の煮え) (解舒率が5%と低いので日本の85%以上に近づきたい) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 当社の製糸課に所属し、解舒率(繭から生糸と抽出割合)の向上の為に指導、助言を行なう。 現状では繭を煮る装置は日本の1950年代のものを模して使ったものを使っており、この装置の改良が必要と認められるとのことで、温度や時間等の制御には課題があるかわからない。 当社の工程士は機械専門の人なりで製糸専門の立場から指導助言出来る人が求められている。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は当社の製糸工場の人。 カウンターパートは大学で経験5年の工程士、ただし機械の専門。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 繭煮機1台、製糸機16台、いずれも中国製 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 中国語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地には40,000haの桑畑があり、5万戸の農家が養蚕を行っており、年間2000tの繭を生産している。当社はこの繭から年間150tの生糸を生産し、250万mの絹織物を生産している。繭から糸と取り出す解舒率が低く、能率が悪いが、隊員の指導により解舒率をあげることにより収益性を改善し、当地の絹織物産業が発展し、これは地域開発に役立つことが期待されている。 なお当地は国家科委技術委員会が行った貧困対策地域の1つで生産性向上により収入の増加と生活向上が望まれている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| ○繭糸の製糸に関する技術 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和63年12月 9日
調査者氏名 中垣長睦, 畠山敬
城内好夫

(14990001)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|-------------------------------|----|----------------|--------|-------|
| チュニジア | (現地公用語) Elevage du ver a soie | 新規 | (男) 人 (女) 人 | 3年 / 月 | |
| | (日本語) 養蚕 (130) | 交替 | (男女不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ①配属先名称 (現地公用語) : Ministere de l'Agriculture | | | | | |
| (日本語) : 農業省 | | | | | |
| ②隊員勤務先名称 : Institut Sylvo-Pastoral de Tabarka 日本語名称 (タバルカ森林牧畜学院) | | | | | |
| 所在地 : Tabarka (カカ) 主要都市 (テュニス) から175km | | | | | |
| ③事業規模及び内容 : 農業省傘下の2年制森林関係中堅技術者養成短大。1970年スイスによって設立された。総スタッフ数83名, 教授13名, 学生40名。現在学生は全員男子で大学入学資格試験 (バカ) を通っている。88年度予算は約2,000万円。 | | | | | |
| ④設備概要 (写真添付が望ましい) : 写真参照。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ①隊員の業務上の地位 : アシスタント・アドバイザー | | | | | |
| ②技術の範囲 : 蚕の卵の孵化, 蚕の飼育, 繭の管理から生糸の操糸まで行なう。 | | | | | |
| ③業務の形態 : 隊員は直接授業に携わることなく, テュニア 人教授を補佐する形で研究活動を行ない, その結果を直接・間接に授業・卒論作成にいかすことになる。現在学院では日本から卵を購入し飼育・生糸生産の研究を行なっているが, 隊員はこのチュニア 人と共に研究活動をするようになる。近くの村で試験的に養蚕が行なわれており, 4~7月は村人に対する技術指導を行ない, それ以外の期間は研究室で研究活動に携わる。学期は9/15~7/10である。勤務時間 : 月~木8:00~12:00, 14:00~17:30, 金・土8:00~12:30。 | | | | | |
| ④対象者及びカカートの技術水準, 学歴及び年齢 : 学生はバカ 合格後2年間の研修 (一般教養など) をうけてから入学してくる (20~22才), 13人の教授は修士2名, 学士9名, 短大卒2名 (27~55才)。内学院の卒業生は3名。 | | | | | |
| ⑤現地で利用できる機材 : 温度・湿度計, 操糸機 (自作), 他に研究室に写真の様な実験器具がある。 | | | | | |
| ⑥第3国人等の配置状況 : 外国人はいない。 | | | | | |
| ⑦使用する言語 : フランス語。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 学院は設立の3本柱として教育・研究・普及を掲げているが, 実際には単なる教育機関となっており, 現在ほとんど行なわれていない研究活動を活性化し, また日本のノウ・ハウを導入したいとの希望が強い。また現在イタリアからの輸入に頼っている絹を, 自国で生産したいとの背景もある。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件については○印で囲むこと) : <u>大学農学部卒</u> , <u>養蚕について一通り知っていること</u> | | | | | |
| ※事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 元年 8 月 28 日

調査者氏名 堀 越 イニシ

00189008

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|-----------------------------|----|---------------------|---------|-------|
| バングラデシュ | (現地公用語) Animal Husbandry | 新規 | (男) 人 | 2 年 7 月 | |
| | (日本語) 141 家畜飼育 | 交替 | (女) 人 (男女不問) 1 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Youth and Sports (日本語): 青年スポーツ省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Department of Youth Development 所在地: Mymensingh 日本語名称(青年開発局) 主要都市(ダッカ)から 120 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 15才~30才迄の青年男女を対象として、青年による国の開発を模索している。青年開発局は1981年6月に創設されたが家畜飼育の研究はそれ以前の1979年8月から始まっている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 青年開発局、県事務所長と同格 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 家禽、山羊、牛の飼育(鶏が主) | | | | | |
| ③ 業務の形態: マインシン県フルアル地区で、自立自営計画(Self-Employment-Project)の下家畜飼育を行なっている青年に対し、技術的側面から巡回指導を行う。青年の多くは3か月間の研修を受講している。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は青年研修センターにおいて家畜飼育コースを受講した青年で、かつ現在家畜を飼育している青年。カウンターパートは | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 大卒であるものの畜産に関しては素人。 ワクダン(無料)、ニワトリの優良種 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: ベンガル語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 人口の多い当国において、就職問題は深刻である。このような状況の下農村では青年自らが仕事を創り出し、青年の力を地域開発に活用とする。自立自営計画(Self-Employment-Project)が行なわれている。その中で最も多く行なわれているのが家畜飼育である。鶏卵および肉は収益率が比較的高く、販路に困らないところから家畜飼育は農村部での絶好の現金収入の道であると言える。畜産の振興が期待されている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒が望ましい | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 1989年 6月 30日

調査者氏名 中山一三
古賀正孝

031.89013

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名 |
|--|--|----------|-------------------------------|--------|------|
| マレーシア (サラワク) | (現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 14. 家畜飼育 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人 | 89年12月 | |
| (1) 配属先 Sarawak Economic Development Corporation (SEDC) | | | | | |
| ① 配属先名称 (現地公用語): Perlindungan Pembangunan Ekonomi Sarawak (日本語): サラワク経済開発公社、地域開発部 村落プロジェクト課 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 同上 / 6-11 Floor, Bangunan Menara SEDC 日本語名称 (同上) 所在地: (クアン近郊) Jalan Tunku Abdul Rahman, 93902 Kuching 主要都市 (クアン) 市内から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: Bintal, Baru, Moyan の3カ村をモリ村とし、調査を農産物や畜気のある村人に対して資金貸し付けて農民の高産経営の自立化をはかっている。現在3カ村飼育3戸肉用鶏3戸、1年10戸、3カ村1戸であるが畜産とL2、L1、拡大を因っていく予定である。(写真参照) 新畜舎にて肉用鶏飼育中 | | | | | |
| ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 共同で使用されている村を巡回するための車 (10シロ) 一台。 PC 9分析、統計処理用のパソコン一台。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 別添の組織図のAPOあるいはPOの補佐 (直轄内からプロジェクトの担当) | | | | | |
| ② 技術の範囲: うちら、畜産、肉用鶏 (ブロイラー) 及び山羊に関する飼育管理方法及びその経済面、技術面の計画立案及び飼育環境 (畜舎、草地等) の整備計画 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 2カ村は Project Officer 1人, Assistant Project Officer 3人, Field Assistant 3人、獣医1人からなる (別添を参照)。彼らがプロジェクトの計画立案、実施を行ない、村人の飼育管理技術の普及を目的としてSEDCは、畜産物 (肉、卵) の市場は確保しているため、隊員は主にカウンターパートとなるAPOあるいは村人の技術普及に、とくにそのFAの技術向上のための指導及びPO、APO、FA、獣医と共に村人の普及方法及び新プロジェクトの計画立案、そして現プロジェクトでの飼育上の技術面での問題の改善である。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: APOは、大学出身者であるが高産について学習はしていない。FAは、高産知識は、農業局等のコースで3月、6月学習した程度である。村人は、ほぼ独学程度の高産 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 共同で使用されている村を巡回するための車 (10シロ) 一台。 PC 9分析、統計処理用のパソコン一台。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 直接このプロジェクト (DESA PROTECT) 部内にはいない。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: マレー語、英語もできればベストである。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: このプロジェクトにおいて、PO、APOはプロジェクトのマネージメントに関して大学時及び彼ら各自に研究しているため確立されたものがあるが、実際の家畜飼育に関する管理方法についての知識が乏しい。農大生を病気の予防、治療に専念させるために、PO、APO、FAは飼育管理知識について、深い知識を得ることをSEDCの職員は望んでいる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 畜産学全般についての基礎知識を有する者 ・ 農業高校卒業以上 | | | | | |
| ※ 事務局記入 121A | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 元年 月 日

調査者氏名 北村公一 (63/1)
松尾邦義

(14689101)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 (現地公用語) | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--------------------|----------|-----------------------------|--------|-------|
| シリア | (日本語) (141)家畜飼育 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2年3月 | |
| (1) 配属先 (63/1, 北村公一) | | | | | |
| (1) 配属先名称(現地公用語): | | | | | |
| (日本語): 農業省酪農公団 | | | | | |
| (2) 隊員勤務先名称: 日本語名称(ズルベ牧場) | | | | | |
| 所在地: 主要都市(ダマスカス)から340キロ | | | | | |
| (3) 事業規模及び内容: フリージアン、ホルスタイン交雑種(当国では両種を明確に区別している)による乳、肉生産。総頭数1100頭、経産牛400頭、育成牛500頭、肥育牛200頭。職員数約70名。 | | | | | |
| (4) 設備概要(写真添付が望ましい): 搾乳: ヘリンボーン型ミルクングローラー、経産、育成、肥育牛管理: フリーボーン、哺乳牛管理: カフボックス、分娩室及び患畜用ストールボーンの改修を申請中 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 農業技師 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 酪農の基礎知識全般 | | | | | |
| (3) 業務の形態: 勤務時間は8:30より14:30頃まで。週2日(獣医師隊員の宿日)夕方も勤務。哺乳牛の管理を中心に日1度の乳量検定、乳期、発育に応じた牧区移動等をシリア人スタッフと共に行う。現在では仔牛の管理(哺乳量、給餌量、離乳時期の決定等)はほとんど隊員が任されるようになっている。 | | | | | |
| (4) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生産部長が近く退職する予定であり、彼の後任として赴任する農業技師をカウンターパートとすることになると思われる。 | | | | | |
| (5) 現地で利用できる機材: 単車、コンピューター | | | | | |
| (6) 第3個人等の配属状況: なし | | | | | |
| (7) 使用する言語: アラビア語(場長は英語可) | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の技術水準は低いものではないが基礎的データの不足がより合理的な生産を目指す上での足かせになっている。シリア人スタッフと共に日常飼養管理業務をこなしながら問題点について当国側に認めさせるに足る資料を作成した上で技術の改良導入を行い生産性の向上に貢献することが望まれている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大卒) (乳牛の飼養実務経験) | | | | | |
| (気力) 知力、体力、適応力 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 元年 9月 9日

調査者氏名 松尾邦義

(146A9102)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|------------|---|----------|------------------------------|--------|-------|
| シリア 共和国 | (現地公用語) Construction engineer for cattle-farm (日本語) 家畜飼育 (14A) | 新規 交替 | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 年 月 | |

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): General Organization of Cattle, Ministry of Agriculture & Agrarian Reform
(日本語): 酪農省酪農公団

② 隊員勤務先名称: 酪農公団本部 日本語名称 ()
所在地: ハマ市 主要都市(ダマスカス)から 230キロ

③ 事業規模及び内容: 酪農公団所有の既存の牧場で、牛の管理上の問題とあり、旧式牛舎の改良。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 酪農公団本部付 牧場 (旧牛舎) 改善のための テクニカルアドバイザー。

② 技術の範囲: 牧場の保有牛数、草地事情、灌溉事情を考慮した牧場 旧牛舎の設計。

③ 業務の形態: 通常はハマ市に在る酪農公団本部の設計・維持管理部に配属され、各牧場での問題とあり、牛舎と牛舎とを改善し、牧場設備の改善に向け、設計図とともに行き、必要に応じて各地の牧場 (シリア全土に8ヶ所) 施設を現場でチェックし、改善指導を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 図面を ~~描ける~~ 画ける人 2人、
播種計算の生手人 3人。

⑤ 現地で利用できる機材: 製図室、製図台、ドラフター等、一部の機材は整っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し。

⑦ 使用する言語: 英語、アラビア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新設場の建設、既存牧場保有牛数の増加、近い将来予定される Economic Organization (乳と採算制、乳中の国外輸出) の移行等、公団の「発展」に伴い、酪農公団の協力隊員に対する期待はより中央での管理への参加の方向にある。過去12年、地方の牧場での現場中心主義の派遣形態から、本部での企画・情報処理に重点が移行した。現在、各牧場のインフラ整備を進め、セクターが盛り上がりつつあり、これは指導が非常に重要である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

酪農全般に関する知識、(牛舎の設計の施工に自覚した経験) 測量の知識、図面が上手に画けること。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 元年 9月 9日

調査者氏名 松尾 邦義

14689104

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|----------|-----------------------------|---------------|-------|
| シリア・アラブ 共和国 | (現地公用語) Herdbook Cattle Management Specialist (日本語) 家畜飼育(14) 牛の血統登録 | 新規 交替 | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 年 月 可及的速やか | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle, Ministry of Agriculture & Agrarian Reform (日本語): 農業省酪農公団 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 酪農公団本部 日本語名称() 所在地: ハマ市 主要都市(ダマスカス)から230キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 最終的には酪農公団が保有している初産牛、仔牛を合計6000~7000 乳牛に關する血統登録。現在、同公団配属のJICA専門家(家畜衛生:シリア隊員OB)、システムエンジニア 隊員(平成2年度以降で交替確保済)が共同で、シリア牧場の100乳牛を対象に、データ作りを行っている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 酪農公団本部付血統登録プロジェクト促進のため、技術アドバイザー。 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 血統登録を管理させるため、各牧場単位の牛に關する情報処理能力。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: ハマ市に在る酪農公団本部に配属され、システムエンジニア隊員と共同で血統書 及び Herdbook 作成に向けて、各牧場が所有する牛に關するデータの整備・収集方法の指導、 コンピューター処理、登録手順の設計。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Herdbook 作成担当一人(女性、アラブ大 学、26才、農学士)。日本人 collaborator として JICA 専門家(家畜衛生:協力隊シリアOB)、システムエンジニア隊員。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 現在のところ、Acer 910 (IBM compatible) 1台 (専門家用機材)。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: なし。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語、アラビア語。 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新牧場の建設、既存牧場保有牛数の増加、近い将来をこらへる "Economic" organization の移行等、公団の"発展"に伴い、公団側が協力隊に期待する仕事内容 には変化がみられる。過去12年間、地方の牧場に家畜飼育、獣医師を主に、専任に派遣してきた経緯 から、今後本部での企画、情報処理への参画が期待されている。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): | | | | | |
| 大学。(直接あるいは間接に血統登録関係の仕事に従事した経験(血統登録に關する 一層のプロセスを理解していること)) 牧場勤務(または管理)の経験、酪農全般についての知識。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 124 | | | | | |

※ 独立採算制、記中の国外輸出

記入 藤 元年 8月 23日

調査者氏名 王 景 子

221-89-110

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---------------------------|----|-------------------|--------|-------|
| エテピア | (現地公用語) ANIMAL SCIENCE | 新規 | (男) 1人 | 90年7月 | |
| | (日本語) A) 家畜飼育 | 交替 | (女) 人 (男女不問) 人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (日本語): 文部省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: As. Tefferi Agriculture School 日本語名称(アサブダリ) 農業学校) 所在地: 石ハラルゲ州 アサブダリ 主要都市(A. A) から320キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 現在アフリカ開発銀行の資金により、開校準備が進んでおり、1990年9月より開校される。当初60~75名の生徒が入校し、3年後には250名程度となる。 | | | | | |
| ④ 学科は、畜産学、畜産学、農業機械科の3つである。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 鶏舎、畜舎、牧場、ラボラトリー。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 畜産学教師 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 畜産に関する中級の知識、技術。(乳牛、鶏、羊、ヤギ、肉牛等) 及び家畜飼育(中級) 解剖学、免疫学、牧草学等の知識、技術があることが望ましい。 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 授業はカリキュラムに沿って進められ、家畜飼育法、防疫、優良品種選定、去勢法、搾乳法、鶏の人工孵化等々に関して指導を行う。隊員は主として実習を受け持つこととなる。又、教師への指導も行うこととなる。 (家畜飼育(中級)) | | | | | |
| ⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: <u>グレード10(高校)</u> 16~18才 B9.9/14に相当 | | | | | |
| ⑥ 現地で利用できる機材: 畜産に必要な諸機材は現在準備中 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は世界でも有数の家畜保有国にもかかわらず、飼育法、免疫法等、旧態依然のままであり、その改善は重要課題である。従って、将来を担う若者に対し、新しい知識、技術を伝えること、大に意義があり、期待されるところも大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学卒以上) (英語力(授業が出来ると)) (3年以上の経験) (教師経験あれば可) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

調査者氏名 和泉 守

221-89-111

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名 ※ |
|--------|---------------------------|----|---------------------|--------|--------|
| エチオピア | (現地公用語) ANIMAL SCIENCE | 新規 | (男) 1人 | 90年 7月 | |
| | (日本語) A1 家畜飼育 | 交替 | (女) 1人 (男女不問) 1人 | | |

- (1) 配属先
- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
 (日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: Meressa Agriculture School 日本語名称 (メルサ農業学校)
 所在地: 北エチオピアメルサ 主要都市 (A.A) から 450 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 現在アフリカ開発銀行の資金により、開校準備が進んでおり
 1990年9月より開校される。当初60~75名の生徒の入校。3年後より250名程度となる。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 鶏舎、畜舎、牧場、ラボラトリー

- (2) 隊員の業務内容
- ① 隊員の業務上の地位: 畜産科教師
- ② 技術の範囲: 畜産に関する中級、知識、技術 (乳牛、鶏、羊、ヤギ、肉牛等)。非
 (家畜飼育中心) 解剖学、免疫学、牧草学等の知識、技術。おのづかひに望ましい。
- ③ 業務の形態: 授業はカリキュラムに沿って進められ、家畜飼育法、防疫、優良品種
 選定、去勢法、搾乳法、鶏の人工化等々に関し指導を行く。
 隊員は主として、実習を受け持つこととなる。 (家畜飼育中心)
 又、教師への指導も行くとある。

⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ^{所の/} ^{1名相当/} グレード10 (高校) 16~18才

- ⑥ 現地で利用できる機材: 畜産に必要な諸機材は現在準備中
- ⑦ 第3国人等の配置状況: 農業機械科に5ドイフボランティアの配属予定
- ⑧ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は世界でも有数の家畜保有国にも関わらず、
 飼育法、免疫法等、旧態依然のまゝであり、その改善は重要課題で
 ある。従って、将来を担う若者に対し、新しい知識、技術を伝えること、
 大きな意義があり、期待されること大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒以上、英語力 (授業可能)
3年以上の経験 (教師経験あれば不可)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 2年 3月 15日

調査者氏名 三浦 敏

(22790003)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|--|------------------------------|--------|-------|
| ガーナ | (現地公用語) ANIMAL HUSBANDRY (日本語) (141) 家畜飼育 | 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替 | (男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人 | 2年12月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE, DEPARTMENT OF ANIMAL HEALTH AND PRODUCTION (日本語): 農業省 獣産高産局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: VETERINARY COLLEGE 所在地: PONG-TAMALE N/A 日本語名称(獣医大学) 主要都市(アムレ)から 30 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 学生数約65名の専制大学 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 約1,000頭の養豚が可能な豚舎, 羊の飼育場, 牛舎, 鶏舎及び孵化場が有る。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 畜産技術者 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 家畜の飼育管理 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 附属農場に牛約1,000頭, 羊約200頭, 豚84頭, 鶏約400羽が飼育されている。隊員は学生, カンパイトに付いて畜産に因る実習指導等を行う。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: VETERINARY TECHNICAL OFFICER | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 蛋白質の供給源としての卵, 肉の増産を望んでいる。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 畜産学科及び獣医学科卒, 実務経験3年程度 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 ^{平成}昭和 2 年 1 月 29 日
 調査者氏名 ベリ ア 調整員 吉村 稔
 坂口 裕 志

(239-90-001)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--|----------|-----------------------------|------------|-------|
| 1) 1113 | (現地公用語) Animal husbandry (日本語) (141) 家畜飼育 | 新規 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 平成 3 年 1 月 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Rural Development (日本語): 地方開発省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Grand Gedeh County Gbaepo District Tautukan (日本語名称(ワボ郡タウトケン村)) 所在地: グランドジエ州 ワボ郡 タウトケン村 主要都市(カウケン)から 11 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: ワボ郡はカウケンを中心とする12の村からなる。この地域において、村落開発隊員と協力し、村人の現金収入の拡大を図るべく家畜飼育技術の指導普及活動を行う。村落開発普及活動の一貫である。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在村において飼育されているのは、ウシ、羊、ヤギ、ニワトリ等である。 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 普及員 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 畜産一般 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 現在、全人の粗放的な家畜飼育を少しでも生産性の高いものにするのが求められている。具体的には当地域の中で家畜飼育に興味のある村民に人材を選別、家畜飼育技術についての指導を行ったり、家畜飼育に関する啓蒙活動を行うことと考えられる。フィールド型である。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 技術水準は原始的粗放家畜飼育の範囲である。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: ヒースコー(アメリカ人) | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地タウトケン村及びワボ郡では現在2名の村落開発普及員が小学校の建設、コミュニティセンターの建設等にプラスチック製の備品を中心とした村落開発活動を行っている。今後当地域の地域おこしをすべく、現在粗放的に行われている家畜をより生産性の高いものにするこにより、村人の現金収入の拡大を図ることが可能ではないかと考え、受入を希望する。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒(農学部) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

平成 昭和 之年 / 月 日
 記入 昭和 之年 / 月 日
 調査者氏名 リベリア調整員 吉村 関根達也

(239-90-002)

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|------------|------------------------------|-----------|-------|
| リベリア | (現地公用語) Animal husbandry (日本語) 14/家畜飼育 | 新規 (交替) | (男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人 | 平成 之年 12月 | |
| (1) 配属先 (632, 関根達也) | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of health and welfare (日本語): 保健省 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Ganta Leprosy center 日本語名称(ガンツらい病センター) 所在地: ニンバ州ガング 主要都市(モノビア)から250キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: りい病患者の治療と社会復帰のためあり病院の他、農場・クラフトショップがある。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 病院・患者家族住宅・トレーニングセンター・豚舎・鶏舎・フィッシュポンド・水田・畑・クラフトショップ他 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 畜産部門の責任者 | | | | | |
| ② 技術の範囲: 畜産一般(と殺、解体、去勢等) | | | | | |
| ③ 業務の形態: 農場は独立採算制を採っており、養豚部門は重要な位置を占めている。種豚16頭、肉用約100頭を飼育し、と殺・解体・販売を行う。養鶏は採卵鶏200羽とカントリーチキンを飼育。将来孵卵器を導入して採卵鶏・ブロウワーとカントリーチキンの改良を予定している。羊は現在10頭だが、今後増える見込み。なお肉牛の導入を検討中である。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 軽度患者が対象で小学校程度の学力。カウンターパートが1人農業学校卒だが技術水準は低い。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 注射筒・針・メス等。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: イルランド人 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: このセンターは先進国からの援助がかなりの部分を占めているが、将来的にはリベリア人だけで運営する予定である。そのためにはカウンターパートの指導および畜産部門の経営が必要であり、隊員に対する期待も大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 畜産一般の知識と経験があること。(大卒(農学部)) 去勢等の豚に対する処置や鶏に対する知識がある人(もしなければ研修を受けて欲しい)。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 129 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和平成 2年 2月 23日

調査者氏名 **マラウイ**
事務所長

243-90-002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|--------------------------|----|---------------------|-------------|-------|
| マラウイ共和国 | (現地公用語) Animal Husbandry | 新規 | (男) 0人 | 平成 2年12月 | |
| | (日本語) 141・家畜飼育 | 交替 | (女) 0人 (男女不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語) : Ministry Of Agriculture | | | | | |
| (日本語) : 農業省、 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称 : Blantyre Agricultural Development Division 日本語名称(農業開発局) | | | | | |
| 所在地 : P, O, Box. 30327 Chichiri Blantyre 3 主要都市(ブランタイヤ)から キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容 : 農業開発局では、全国に8ヶ所の支店を持ち、各地域に於て広範囲に渡る農業開発事業を行っている。農業開発局ブランタイヤ管轄区内の、酪農家への技術指導を行なっている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい) : 事務棟 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位 : Assistant Animal Husbandry Officer | | | | | |
| ② 技術の範囲 : 酪農技術全般に関する知識 酪農機械メンテナンスに関する知識 | | | | | |
| ③ 業務の形態 : バイク、又は車で農業開発局ブランタイヤ管轄区内の酪農家を訪れ、直接技術指導する。また、組合ごとのミーティングにも参加し、酪農家が抱えている諸問題の解決にあたる。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : 大学卒(畜産科)、海外研修の経験がある。 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材 : 出張による巡回指導が中心であり、特に機材は必要としない。 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況 : VSOのシステムエンジニア 2名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語 : 英語、チェワ語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 現在、ホルスタイン売却のプロジェクトが進行中であり、高泌乳牛飼養の経験のない酪農家にとって、隊員の技術に対する期待が大きい。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : ① 農業改良普及員 2 英語力 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和平成 2年・2月・23日

調査者氏名 **マラウイ**
事務所長

243-90-003

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--------------------------|----|---------------------|-------------|-------|
| マラウイ共和国 | (現地公用語)・Animal Husbandry | 新規 | (男) 0人 | 平成 3年 3月 | |
| | (日本語) 141・家畜飼育 | 交替 | (女) 0人 (男女不問) 1人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語) : Ministry Of Agriculture , Department Of Veterinary Services | | | | | |
| (日本語) : 農業省、畜産局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称 : Bwemba Dairy Farm 日本語名称(ブエンバ農場) | | | | | |
| 所在地 : P.O.Box, 1109 Lilongwe 主要都市(リロングウェ)から 3 キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容 : 哺育牛、育成牛、搾乳牛、及び種雄牛、合計約400頭規模の政府農場で、近隣には養鶏場、 ・検疫所、及び家畜衛生試験場がある。主にリロングウェ地区への牛乳の供給とあわせて、中部地区の農家への搾乳牛 ・の販売が主務となっている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい) : 一般的農場施設(事務棟、穀物倉庫、子牛舎、修理工場、搾乳棟、バンカーサイロ ・等) | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位 : Animal Husbandry Officer | | | | | |
| ② 技術の範囲 : 酪農経営の一般的知識に加え、人工授精、妊娠鑑定、及び肥料計算とその給与方法 | | | | | |
| ③ 業務の形態 : 子牛、育成牛、搾乳業、及び乾乳牛の生育ステージにおける、飼育管理全般の合理化を通じ、乾期 ・の粗飼料確保技術、並びに低コスト飼料の研究開発、現地スタッフの育成にあたる。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢 : | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材 : 人工授精器具、トラクター、フォレージハーベスタ、ハンマーミル、フィードミキサー | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況 : 養鶏の隊員が近隣の養鶏場に1名いる。 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語 : 英語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 農場の合理的運営について改善すべき点が多々あり、現在2代目の隊員が活動 ・している。政府系農場ゆえに財政的逼迫が常態化しており、隊員の継続的な協力による発展が期待される。 | | | | | |
| ④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : ① 大学卒以上 (畜産学科) | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 平成 2年 2月 23日

調査者氏名 マラウイ 事務所長

243-90-004

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--------------------------|----|---------------------|--------|-------|
| マラウイ共和国 | (現地公用語) Animal Husbandry | 新規 | (男) 1人 平成 | 2年12月 | . |
| | (日本語) 141 家畜飼育(養豚) | 交替 | (女) 0人 (男女不問) 0人 | | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Ministry Of Agriculture, Department Of Veterinary Services | | | | | |
| (日本語): 農業省畜産局 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Mikolongwe Veterinary Station, BUSA Farm Piggry Station (ミコロングウェ農場) | | | | | |
| 所在地: P.O. Box 5193 Limbe 主要都市(ブランタイヤ)から20キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 現在、肉牛422頭、豚234頭、山羊110頭を主に、その他、あひる、がちょう等を飼育している。草地は、飼育頭数に比べかなり広く、1500ha以上ある。業務としては、近郊農家への種豚、繁殖、豚の供給、及び各種家畜の市場への供給も行なっている。 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 豚用(分娩舎1 肥育舎3 種豚用豚舎1)牛用(飼育用牛舎2) | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: Technical Officer | | | | | |
| ② 技術の範囲: 養豚に対する繁殖から肥育までの一貫した経営、及び管理技術 人工授精、妊娠鑑定、及び簡単な治療技術 | | | | | |
| ③ 業務の形態: 病豚、病牛の治療。各家畜の分娩前後の管理、及び吸乳豚(子豚)の管理が主な仕事である。今後当農場では豚の飼養頭数を増やす計画がある。 | | | | | |
| . | | | | | |
| . | | | | | |
| . | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 専門学校卒 27才 | | | | | |
| . | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター、フォーレージハーベスター、ディスクプラウ、ブロードキャスター等 | | | | | |
| . | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカ人 (獣医) 1名 | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語、チェワ語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国内の豚肉需要を満たす為、豚肉生産、及び普及に務めている。しかし経営(養豚)は基盤が貧弱で、規模が小さく十分に需要に答える事が出来ない。そこで隊員に対して日本的な経営方法、並びにマラウイに適合した経営方法を考え、指導する人材が求められている。又、技術指導とあわせ、合理的かつ、有益な経営方法を必要としている。 | | | | | |
| . | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 農業高校卒以上 | | | | | |
| ② 実務経験3年以上 | | | | | |
| . | | | | | |
| . | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 平成 年 2 月 15 日

調査者氏名

大芝博明 新納良次

28390002

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|--|--|------------|-----------------------------|--------|-------|
| ザンビア | (現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 141 家畜飼育 | 新規 (交替) | (男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人 | 90年12月 | |
| (1) 配属先 Kitwe District Council farm | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): Office of the Prime Minister (日本語): 総理府 自治省 (MINISTRY OF DECENTRALIZATION) | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: Kitwe District Council 日本語名称(ホムエ市役所) 所在地: Kitwe 主要都市(Lusaka)から350キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 面積 12000ha、牛、600、豚100、鶏、山羊。 飼料作物、放牧地等、その他、ミズ野菜も入っている。面積の85%以上は未開墾地(ツツ)。農場長1人、副1人、技術者3人、ワーカー約60人 | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、Workshop - トラクター フォーク、その他農機具(スプレーヤ、...) | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: 市役所付農業技術(家畜飼育)スーパーバイザー(監督者) | | | | | |
| ② 技術の範囲: 牛、豚、鶏の一般管理、治療等も行う。 飼料作物や牧草地、又野菜等に関する知識技術も必要と思われる | | | | | |
| ③ 業務の形態: 実務中心。この農場は肉牛の主に飼われているが、乾期には放牧地の未開墾の為、草が不足となり餓死する牛がかなり増える影響が大きい。この為飼料作物、放牧地や防除方法の確立は、これに運営の活性化が望まれる。又、概観とあわせて生産性の向上、防除の確立を望む。又、全般的な記録、開発プランや経営の潤滑化も仕事の一つの大きな役割である。 | | | | | |
| ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農業専門学校卒業 33才、実務経験9年 | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: トラクター1台、ランドローバー1台、 豚体重量計、揚水ポンプ1台 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: 無し | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: 英語、ベンダ語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方分権及び地域農業振興対策の一環として各地の自治体や農場を経営するに力をつけてもらう。いわば食糧増産に向け、他の農民に対する高い意味でのデモンストラーションである。ザンビア自治体、同一本部から農業国に力をつけているが、実情はコマーシャル個人経営の成功している位で、全体的レベルはまだまだ低い。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1. 農業系の高等教育機関卒業(農業大学校、短大、大学) 2. 実務経験2~3年以上が望ましい。 | | | | | |
| ※ 事務局記入 | | | | | |

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和五十九年 11月 3日

調査者氏名 志藤祐介, 藤新泰昌

32289107

| 受入希望国名 | 受入希望業種 | 区分 | 受入希望人数 | 受入希望時期 | 合格者名※ |
|---|---|---|-----------------------------|----------------|-------|
| コスタリカ | (現地公用語) 家畜飼育(人工授精) (日本語) GANADERIA (141) | 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 | (男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人 | 90年8月 H2/1次 | |
| (1) 配属先 | | | | | |
| ① 配属先名称(現地公用語): UNION REGIONAL DE COOPERATIVAS DE LA ZONA NORTE (日本語): 北部地域協同組合連合 | | | | | |
| ② 隊員勤務先名称: 同上(略称: URCOZON) 日本語名称() 所在地: アラフエラ県 シタケサタ 主要都市(サン・ホセ)から120キロ | | | | | |
| ③ 事業規模及び内容: 32の協同組合から構成され、地域発展を目的とした各種啓発事業を行う | | | | | |
| ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 講習会用教室、ビデオ(V-C), オーディオ、フロッピーディスク、スライド映写機の使用が可能 | | | | | |
| (2) 隊員の業務内容 | | | | | |
| ① 隊員の業務上の地位: | | | | | |
| ② 技術の範囲: 牛の人工授精に関する幅広い知識、実際に人工授精が行える事 | | | | | |
| ③ 業務の形態: ○ URCOZON 事務所の教室を利用した講習 ○ 人工授精師の養成及び授精師の技術向上のための指導、助言 ○ 人工授精泉泡、概念普及 2行/色 | | | | | |
| 上記の業務を、URCOZON 事務所及び農家へ巡回、一定期間、特定地域に定住して実施する事を行う。 | | | | | |
|) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 人工授精を導入している農家、人工授精師に対する指導から、人工授精概念が必要な農家まで、対象者の幅は広い | | | | | |
| ⑤ 現地で利用できる機材: 説明 人工授精器具一式 | | | | | |
| ⑥ 第3国人等の配置状況: | | | | | |
| ⑦ 使用する言語: スパイン語 | | | | | |
| (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 人工授精を導入した生産性向上を目標とした人工授精概念の普及、正しい理解を広める事が望まれている。 コスタリカ国内における、太平洋沿岸北部地域は、乳牛農家も多く、また、肉牛飼育も盛んに行われており、畜産の重要度は高い。 | | | | | |
| (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(家畜人工授精師(牛)) 大学 経験3年 | | | | | |
| ※ 事務局記入 134 | | | | | |